

事業報告
社会福祉法人三翠会

令和2年度事業報告

社会福祉法人三翠会

令和2年度は三翠会が中心となって「三田の福祉力を向上」させるという目標に向かい各事業を行ってきましたが、コロナ禍の影響で計画通り進まず、臨機応変な対応が求められた一年でした。

1. 経営改善、経営基盤の安定化

【各事業の収入結果】

令和2年度は収入に関しては大変厳しい状況でした。目標を達成した事業所はケアハウス、ホームヘルプステーション、グループホーム、あいの保育園（在園）でその他の事業所は未達成でした。未達成の事業について原因はコロナ禍の影響があります。令和2年4月から5月にかけて第一次緊急事態宣言が発令されたため保育園は特別保育に、デイサービスは一時休業をせざるを得ない状況となり、入居系施設に関しては新規利用候補者の入居先の老健施設、病院等が面会制限を行い事前面接ができないことによる入居までの所要期間の延長、在宅サービスでの感染を心配しての利用控え等がありました。その他、市内に新たに特養やグループホームができたことで入居申し込み者数が減少したことも原因と考えられます。

対策として、戦略室を中心とした営業の強化、健康診断書の取得を早めに行い各事業所ごとに入所準備を進めました。また、ホームページやSNSによる情報発信など、新規入居者獲得のための対策を実施してきましたが目標達成には至りませんでした。

【経営基盤の安定】

114銀行からの借入金の返済計画について令和2年度は見直し年でしたが、コロナ禍の影響で話し合いを行うことが難しく、従前の計画の内容を令和3年7月まで延長するということとなりました。

土地賃貸業として山陽メタルに対して貸していた土地に関しては、10月に売却を行い、その収入に関してはさんすい園大規模修繕に活用していく予定です。

2. 顧客満足度、サービスの質の向上

【利用者、園児への対応】

高齢者サービスおよび保育園のサービスの内容に関してもコロナ禍の影響を大きく受けました。

入居系施設ではご家族との面会は兵庫県の対処方針に合わせ、感染が落ち着いていた一時期を除きオンライン面会にて実施をしました。大勢の利用者に集まっただき全体で行っていた秋祭りや敬老会等の行事は感染予防対策として行えず、各事業所やフロア単位での実施となりました。またボランティアに関しても面会中止となっているために生活に必要な理容ボランティア以外は施設に来てもらうことが難しい状況が続きました。買い物や外食、外出行事も感染予防対策のために実施できず、ご利用者にストレスがある中、過ごしてもらわざるを得ませんでした。保育園においても行事への家族の出席について人数制限やお泊り保育の中止など感染予防を行いながら実施しました。

対応として買い物代行や行事は各事業所単位やフロア単位で行事を実施し、少人数で行う事により身近で個別性の強い内容で行えるなどメリットもありました。またフロアごとに工夫を凝らした行事がこれまで以上に活発に行えたことや、ケアハウスでのいきいき100歳体操の実施、サンヒルズでの喫茶やリハビリの充実、保育園とデイサービスをオンラインでつないでの交流会の実施など、コロナ禍の中でできることを考えて実施しました。さらに、ご家族との連絡手段にメールの活用がこれまで以上に進むなど、IT化をより進めることができました。

【施設・設備の整備】

建物長期寿命化計画に基づく大規模修繕として、保育園外壁改修工事を行いました。さんすい園外壁・防水工事については入札を実施し業者を決め、令和3年4月から工事開始予定です。

その他設備関係については補助金を活用しWi-Fi工事を行いました。インターネット環境を整備することで特養・サンヒルズで導入した見守り支援機器（補助金活用）を使って業

務の効率化を行いました。またサンヒルズの事務所統合やリハビリ室の移転などの施設の整備も行いました。

【地域貢献事業】

地域貢献に関しては例年同様、地域サポート施設事業（携帯電話での支援サービス）、配食サービス（NPOアユートとの連携）の実施、見守り藍隊会議への参加を行いました。また、在宅部門において「さんすい園福祉セミナー」を計画し、地域に案内することができました。地域からの依頼はデイサービスでの1回のみでしたが、令和3年度も引き続き取り組んでいきたいと考えています。

介護技術講習会を地域住民だけではなく、市内の高齢者福祉事業所にも案内し参加者を募り、交流を行い市内の専門職間のネットワークづくりに貢献するために計画していましたが、コロナ禍の影響で実施には至りませんでした。

3. 組織風土の改革、人材育成

【人材確保】

福祉業界全体の人材不足の中で積極的な取り組みを行いました。新卒採用に関しては高校訪問を重ね高卒採用につながりました。また短大卒の介護福祉士の採用も行え、新卒採用については成果が出ました。外国人介護職員の採用も長期的視野に立って早めに取り組み10月に2名の採用を行いました。非常に優秀で令和3年4月からは夜勤も行えるようになってきました。中途採用については募集をしても応募がない状況が続くため人材紹介業者を使うことが増えてきています。特に看護師は人材紹介で面接を行っても採用につながらないことが多く、対策として新たなインターネット媒体への募集の掲載、県より「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」として本年認定されたことによるイメージアップ、採用ホームページの検討など行いました。

【人材育成】

職員研修はコロナウィルス感染予防として多くの職員が集まった研修が難しくフロアや事業所単位で少人数での話し合いや、オンライン動画を見ての研修など工夫しながら行ってきました。しかし計画していた主任以上の経営感覚育成の研修や、拠点間の合同研修は行えませんでした。

理念の実践を行っていくために行動指針を策定し、各拠点で説明会を行いました。朝会で唱和するなど今後も継続して行動指針が実践できるよう取り組んでいきます。

資格取得の支援に関しては、さんすい園での介護福祉士実務者研修の開催が行えるよう、三幸福祉カレッジと打ち合わせを重ね、令和3年度開催できる予定となりました。資格取得支援への取り組みは人材の確保にもつながり、他法人の福祉事業所にも参加を呼びかけることで地域への貢献にもつながりました。

採用した職員が退職することなく長く働いてもらえるように、特養ではプリセプターノートを作成するなど、職員が定着して行く仕組みづくりも継続して行っています。

【働き方改革と業務改善・効率化】

働き方改革委員会での検討を継続して行いました。昨年度実施した「気づきシート」の職員からの意見への取り組みを1年間継続で実施、会議の効率化の取り組みとしてグランドルール作成と年間会議一覧表作成、在宅部門の駐車場の整備、保育園のタブレット増設をはじめ多くの取り組みを行いました。またワーキングチームを設置し具体的な効率化の内容を検討、コピー機の使用の無駄を削減、車両の傷チェックシート作成、水道、電気料金の前年度比較、啓発冊子の作成などの取り組みを行いました。

働きやすい職場を目指しての取り組みとして、有給休暇取得の年間目標10日を設定したところ、結果は9.1日でした。これまでに比べると有給休暇が取得しやすくなっていますが、引き続き取り組んでいきます。

コロナウィルス感染症対策として、拠点間のオンライン会議が開催できるように設備整備やWi-Fi設備を設置したことにより、拠点間の移動の減少や書類入力作業の省力化、利用者の見守りなどの業務の効率化につながりました。

地域貢献事業

【地域サロンの送迎支援】

日時	人数	費用
コロナ禍のためサロン自体が開催されず、送迎支援の実施は無し。		
合計	0	0



見守り藍隊会議

【配食サービス】

月	食数
4	115
5	126
6	133
7	125
8	106
9	145
10	134
11	145
12	124
1	106
2	113
3	131
合計	1503

【介護技術講習会】

日時	参加人数	内容	参加職員
		コロナ禍のために中止	

【見守り藍隊会議】

日時	内容
R2.6.29	気になる人についての経過報告、見守り藍隊BOOK更新作成について、アユートの外出支援について
R2.8.26	気になる人についての経過報告、子ども食堂の実施状況について、つつじの森状況報告
R2.9.29	気になる人についての経過報告、子ども食堂の実施状況について、つつじの森状況報告
R2.10.27	気になる人についての経過報告、配食サービスの実施状況について、さんすい園セミナーについての案内
R2.11.24	気になる人についての経過報告、配食サービスの実施状況について
R2.12.22	気になる人についての経過報告、新型コロナウイルス感染症対策、対応の情報共有について
R3.2.16	気になる人についての経過報告
R3.3.30	気になる人についての経過報告

消防訓練

【さんすい園拠点】

日時	内容	参加職員
4月8日	(株)ニッタン指導の元、消火器、消火栓使用にて消火訓練。	8名
5月27日	グループホーム避難誘導訓練	8名
6月24日	増築棟初期消火訓練	7名
7月31日	特養、ケア、デイ避難誘導訓練	26名
8月26日	火災受信機操作訓	7名
9月23日	本館2階初期消火訓練	5名
10月30日	本館2階初期消火訓練	8名
11月25日	増築棟初期消火訓練	6名
12月30日	新館2階初期消火訓練	6名
1月26日	火災受信機操作訓	5名
2月25日	グループホーム避難誘導訓練	8名
3月29日	特養、ケア、デイ避難誘導訓練	28名

【あいの保育園拠点】

日時	内容	参加職員
6月30日	厨房より火災想定	23
7月31日	園舎裏の田んぼより火災想定	24
9月1日	園舎裏の農道より火災想定	22
9月25日	園舎裏の農道より火災想定	21
10月30日	園舎裏の農道より火災想定	22
11月25日	園舎裏の農道より火災想定	25
12月28日	厨房より火災想定	23
1月18日	地震からの厨房火災想定	22
2月25日	築山裏からの火災想定	26
3月29日	厨房より火災想定	23



あいの保育園 避難訓練

【サンヒルズ拠点】

日時	内容	参加職員
5月20日	避難・通報・消火訓練及び、防火設備の説明・確認	5人
7月28日	消火訓練(消火器・散水栓の使い方及び場所の確認)	5人
9月2日	厨房災害想定訓練、外注(2社)により弁当で食事提供	15人
11月11日	停電想定訓練(実際に全館停電させ、自家発電の可動状況を確認)	40人
3月3日	避難・通報・消火訓練及び、防火設備の説明・確認 発電機の使い方、備蓄物品、場所の確認	10人

感染症対応

【さんすい園拠点】

- ・職員へのマスクの配布と着用の徹底
- ・職員健康管理の用紙配布と日々の記入
- ・外出の制限
- ・対面面会の原則禁止とオンライン面会の実施(ターミナルケア期等特別な場合を除く)
- ・全体行事の中止とフロア、事業所単位での小規模での行事实施、オンラインでの保育園との行事の開催
- ・館内の自動ドアの手動化
- ・ケアハウスの買い物代行
- ・館内の食席の配置変更とアクリル板の設置
- ・館内のクリーンタイム(消毒の時間)の設定

【あいの保育園拠点】

- ・職員マスク着用(保育の内容によってマウスシールド) 保護者の送迎時のマスク着用
- ・園児・職員の健康チェック(検温)
- ・玩具の消毒
- ・手洗いはペーパータオル使用(園児)
- ・給食時間は私語をしない
- ・睡眠時の布団の配置(互い違い)
- ・園児のトイレの出入口を一方通行
- ・全員で集まる行事は中止(お誕生日会は2クラスずつ)

【サンヒルズ拠点】

- ・職員へのマスクの配布と着用の徹底
- ・職員健康管理の用紙配布と日々の記入
- ・入居者外出の制限(受診・理美容・行政手続きを除く)
- ・対面面会の原則禁止とオンライン面会の実施(ターミナルケア期等特別な場合を除く)
- ・全体行事の中止とフロア、事業所単位での小規模での行事实施
- ・館内の自動ドアの手動化
- ・館内のクリーンタイム(消毒の時間)の設定

理事会・評議員会の開催状況

【理事会】

開催年月日 (開催場所)	出席者 数 ／定数	出席者 中の書 面表決 者数	協議事項	欠席者名	監事 出席者名	議事録 署名人
R2.6.15 (ふれあい ホール)	7名 /7名	無し	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度事業報告・決算報告について 2. 監事監査報告について 3. 令和元年度の社会福祉充実残高額について 4. 居宅介護支援事業所の重要事項説明書の変更について 5. サンヒルズ八景の運営規程・入居契約書の変更について 6. ソーシャルメディア利用管理規程の設定について 7. 山陽メタルへの土地売却(基本財産を含む)について 8. 長期修繕計画と令和2年度工事の実施について 9. 外国人介護職員の受け入れに係る規定等について 10. 次回評議員会の開催日程と議題について 	無し	狭間孝	井堂信純 狭間孝
R2.9.17 (ふれあい ホール)	6名 /7名	無し	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育園の屋上・外壁修繕工事のスケジュールと入札について 2. 就業規則(コロナ疑い時の特別有給休暇)について 3. 給与規程の変更(給与締め日の変更)と切り替え方法について 4. サンヒルズ八景の管理規程の制定について 5. サンヒルズ南側の里道について 	坂井浩史	中丁卓也	井堂信純 中丁卓也
R2.12.18 (ふれあい ホール)	7名 /7名	無し	<ol style="list-style-type: none"> 1. さんすい園(本館・東棟)の外壁修繕工事の入札準備について 2. 令和3年4月からの地域包括支援センターの設置予定について 3. 定款変更(基本財産の減少・収益事業の廃止)について 4. さんすい園在宅事業の営業日、営業時間等の訂正・変更について 5. 114BKからの申し出について 6. 公認会計士による業務支援契約の締結について 7. 次回の評議員会(持回り会)の開催について 	無し	狭間孝 中丁卓也	井堂信純 狭間孝 中丁卓也
R3.1.7 (書面決議 理事会)	7名 /7名	無し	<ol style="list-style-type: none"> 1. さんすい園居宅介護支援事業所重要事項説明書の追記について 	無し	狭間孝 中丁卓也	無し

開催年月日 (開催場所)	出席者 数 ／定数	出席者 中の書 面表決 者数	協議事項	欠席者名	監事 出席者名	議事録 署名人
R3.3.23 (ふれあい ホール)	7名 /7名	無し	<ol style="list-style-type: none"> 1. さんすい園(本館・東棟)の外壁修繕工 事の入札事務費用と入札結果について 2. 建物長期寿命化計画(大規模修繕・中 規模修繕)の見直しについて 3. 令和2年度の補正予算について 4. 経理規程(収益事業の廃止)の変更 について 5. 役員賠償保険の加入について(法令改 正) 6. 介護報酬改定に係る運営規程、利用契 約書、重要事項説明書の変更について 7. ケアハウスの契約書の変更について 8. 給与規程(オンコール手当)の変更 9. 地域包括支援センターの設置に伴う定 款、定款細則、公印規程、経理規程の 変更および運営規程、利用契約書、重 要事項説明書の制定について 10. 県職員OBの採用について 11. 次期役員体制に伴う定款変更、役員等 の報酬、手当及び費用弁償に関する規 程の制定について 12. 令和3年度の事業計画・収支予算につ いて 13. 次回の評議員会(令和3年3月31日10時 より)の開催について 	無し	狭間孝 中丁卓也	井堂信純 狭間孝 中丁卓也

【評議員会】

開催年月日 (開催場所)	出席者 数 ／定数	出席者 中の書 面表決 者数	諮問事項	欠席者氏名	理事 監事 出席者名	議事録 署名人
R2.6.30 (ふれあい ホール)	5名 /8名	無し	1. 令和元年度事業報告・決算報告について 2. 監事監査について 3. 令和元年度社会福祉充実残高について 4. 山陽メタルへの土地売却(基本財産を含む)について 5. 長期修繕計画と令和2年度工事の実施について	吉川良輔 西野千鶴子 馬込武志	井堂信純 坂井浩史 田崎幹雄 前川嘉彦 松林雅史 山地真由美 狭間孝 中丁卓也	西田孝夫 松山正司
R2.12.28 (書面決議 評議員会)	8名 /8名	8名	1. 定款変更(基本財産の減少・収益事業の廃止)について	無し	無し	無し
R3.3.31 (ふれあい ホール)	7名 /8名	無し	1. 令和2年度の補正予算 2. 定款変更(事業・役員体制)について 3. 令和3年度の役員等の報酬・手当について 4. 令和3年度の事業計画・収支予算 5. 建物長期寿命化計画(大規模修繕・中規模修繕)の見直しについて	馬込武志	井堂信純 坂井浩史 田崎幹雄 前川嘉彦 松林雅史 山地真由美 狭間孝	谷口弘 小南康

職員の状況

【職員の状況】

令和3年3月31日現在/単位:人

所属	部署	R2.4.1	入職者数	異動		退職者数	R3.3.31	離職率
				他部署から	他部署へ			
特養	介護	57	8	1	4	5	57	8.8%
	看護	7	2	0	0	4	5	57.1%
	ケアマネ	2	0	0	0	0	2	0.0%
	相談員	2	0	0	0	0	2	0.0%
	厨房	9	2	0	0	2	9	22.2%
その他	3	2	0	0	2	3	66.7%	
デイ		13	1	0	0	1	13	7.7%
ケア		2	0	0	0	0	2	0.0%
ヘルプ		8	1	0	0	1	8	12.5%
グループホーム		15	0	2	0	1	16	6.7%
支援C		2	0	0	0	0	2	0.0%
さんすい居宅		4	0	1	0	0	5	0.0%
地域サポート		1	0	0	0	0	1	0.0%
保育園	保育士	29	1	0	0	2	28	6.9%
	厨房	3	1	0	0	1	3	33.3%
特定施設	介護	54	7	1	7	7	48	13.0%
	看護	8	0	0	0	2	6	25.0%
	ケアマネ	2	0	0	0	0	2	0.0%
	相談員	1	0	0	0	0	1	0.0%
	厨房	12	2	0	0	2	12	16.7%
	事務所	4	0	0	0	0	4	0.0%
その他	2	1	6	0	3	6	150.0%	
本部		3	0	0	0	0	3	0.0%
さんすい事務所		4	0	0	0	0	4	0.0%
戦略室		3	0	0	0	0	3	0.0%
合計		250	28	11	11	33	245	17.1%

【年齢構成】

令和3年3月31日現在/単位:人

	20まで	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65歳以上	合計	平均
さんすい園	0	14	19	31	32	13	27	136	50.6
保育園	0	5	5	9	7	2	3	31	45.7
サンヒルズ	0	4	9	14	22	21	9	79	52.4
合計	0	23	33	54	61	36	39	246	50.4

【勤続年数】

令和3年3月31日現在/単位:人

	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	20年以上	合計	平均
さんすい園	14	16	19	27	20	26	14	136	9年8ヵ月
保育園	2	4	7	8	2	4	4	31	9年1ヵ月
サンヒルズ	9	25	34	7	0	2	2	79	4年0ヵ月
合計	25	45	60	42	22	32	20	246	7年9ヵ月

【資格取得の状況】

令和3年3月31日現在/単位:人

	介護福祉士	初任者研修	ケアマネ	主任ケアマネ	社会福祉士	看護師	准看護師	管理栄養士	栄養士	調理師	保育士	作業療法士	合計
特養	38	28	9	0	1	4	1	2	1	7	0	0	91
デイ	6	6	3	0	0	1	1	0	1	1	1	0	20
ケア	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
ヘルプ	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
グループ	12	10	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	26
支援C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
さんすい居宅	5	4	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	15
地域サポート	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	27	0	30
特定	33	36	12	1	0	4	1	1	4	5	2	1	100
本部	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
事務所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
戦略室	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	101	95	33	2	2	9	3	3	7	16	30	1	302

事業実施の状況

特別養護老人ホームさんすい園

令和2年度は「笑顔あふれる我が家づくり。地域に根差し医療と連携した安全・安心の介護・看護」をキャッチフレーズに介護、看護、生活相談、ケアマネ、栄養各部門がそれぞれの基本を徹底し専門性を発揮し、各部門の連携に努めながら利用者への支援を行ってまいりました。

【収入面】

年度収入目標481,542千円に対し474,703千円と及びませんでした。稼働率も目標97.2%に対してコロナウイルス流行の影響や、例年にないペースでの退所者が相次ぎ、95.7%と、及びませんでした。

第1次緊急事態宣言時の4月～5月はロングショートからの移行以外の入所を止めて、その後の入所調整については、老健等施設への面談がコロナ影響で行けない状況が続きましたが、オンラインでの面談等を実施し入所へつなげました。

【各部署の状況】

生活相談については、利用者、家族の相談に乗りながら、各職種間や外部機関との連携の中心になる様に努めてまいりました。また、要介護度、認知症高齢者自立度の高い利用者の受け入れを積極的に行い、従来型特養、ユニット型特養の日常生活支援加算の算定が継続できるように調整しました。看護師の連続した退職により、看護体制加算の取得ができず、減収となっており、体制の回復を急ぎます。

年間通しての平均要介護度は3.72 認知症高齢者自立度Ⅲ以上の方が85%です。

施設内の連携については各会議や引継ぎの場を通して各部署間でお互いの立場や役割を理解することに努めました。看護・介護職員は認知症ケアの充実等による生活の質の向上を目指し、利用者の状態観察による健康管理を行い、ケアマネージャーはケアプランを中心とした個別ケアの実施を行いました。

【サービス内容】

個々の利用者の尊厳、自立した生活を支援するため、各委員会や、会議にてより良いサービスのあり方について検討しています。自立支援に繋がる機器を補助金を利用して導入し活用しています。

コロナ禍にあっても、楽しみのある生活を継続してもらうため、各フロア、ユニット単位での利用者の楽しみを考え、実施するとともにホームページやSNSにその様子をアップし、外部に発信をしました。家族との連絡についても積極的にメールを取り入れ、7割程度のご家族とはメールにより連絡を取れています。

ターミナルケア加算取得は15名でした。（施設内死亡者25名）

【地域貢献】

介護技術講習会を企画していましたが、コロナ禍により中止とせざるを得ませんでした。

【業務の効率化】

介護ロボット（移乗支援、見守り支援）機器の導入（県助成金使用）により利用者の自律支援、介護の負担軽減、事故の防止に努めました。

【人材育成】

新人職員マニュアルに沿った指導を行いました。チューターによるプリセプターノート等を使うシステムを作成し活用しました。



楽しみのある生活、農作物収穫



移乗サポートロボットHug

数値データ

月別在籍者数、入院者、入退所者の状況

単位:人

	在籍者数末日現在		入院者数末日現在		入所者数		退所者数	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
4月	99	96	5	1	1	1	1	3
5月	100	95	3	1	1	1	0	2
6月	98	97	3	0	1	3	3	1
7月	99	97	0	1	3	2	3	2
8月	100	97	0	3	3	2	1	3
9月	99	96	1	3	1	5	2	5
10月	99	98	1	2	2	5	2	3
11月	100	99	1	1	1	3	0	2
12月	98	98	1	2	1	1	3	3
1月	100	98	2	2	3	4	1	3
2月	98	98	3	2	0	3	2	3
3月	98	99	3	1	1	1	1	0
合計or平均	99.0	97.3	1.9	1.6	18	31	19	30

月別申込者数、平均介護度の前年度対比

単位:人/要介護度

	月別申込者数		申込待機者数(末日)		平均介護度末日現在	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2
4月	4	6	98	43	3.8	3.7
5月	7	7	77	47	3.8	3.8
6月	6	3	80	51	3.8	3.8
7月	7	8	84	57	3.8	3.8
8月	9	0	90	51	3.8	3.8
9月	4	3	93	56	3.8	3.7
10月	4	7	97	64	3.8	3.7
11月	3	3	100	69	3.8	3.7
12月	3	12	103	64	3.8	3.7
1月	5	2	108	69	3.8	3.7
2月	8	7	116	67	3.8	3.6
3月	7	6	122	59	3.8	3.6
合計or平均	67	64	97.3	58.8	3.8	3.7

老人短期入所事業所さんすい園

【稼働率の向上】

稼働率向上のため、特養空床利用を積極的に行うことを令和2年度も引き続き行いました。空床状況を把握し、空き部屋が出た際は各在宅事業所にFAXで空き情報の発信を行い、また、家族に電話で直接空きの情報をお伝えしています。令和2年度では特養での入退所の動きが激しく空床がかなり出てしまいましたが、コロナ禍の影響により特養空床利用の中止を余儀なくされ、思うように稼働率を上げられませんでした。しかしながら、緊急利用の依頼や困難事例を積極的に受けるなど、稼働率の向上に意欲的に取り組んだ結果、目標金額19,728,000円に対し19,738,000円と僅かながら上回る結果を残せました。更に、特養入所につながるショートステイの受け入れを継続して行い、ロング利用や通常利用からの特養入所の方が4名、ショート利用からグループホーム薬師の里に入居された方も数名おられ、法人全体の利益に貢献する事ができました。

【サービスの統一】

ショートステイの受け入れにおいて、酒類の持ち込みをはじめ、送迎時間や方法を可能な限り要望に沿って、柔軟に対応するなど、困難事例の方へのマンツーマン対応等、更なるサービスの向上をアピールしました。

短期入所介護計画に対して関係の他事業所とのサービス担当者会議や看介護、相談員でカンファレンスを行い、職員が統一したサービスを行えるようにしています。

個別での関わりについては、令和2年度はコロナ禍による影響でボランティアによるイベントや行事を行えなかったため、フロア単位でのレクリエーションを行い、積極的に参加を促しました。

【相談業務】

相談援助業務については、利用者と家族、ケアマネージャー、事業所との連携を十分にを行い、特にマンツーマンの付き添いが必要な方や特別な対応が必要な方など、さんすい園でしか対応が難しいとされた依頼を積極的に受けることで信頼関係の構築に努めました。



入居者とショート利用者との囲碁対決



パンケーキ作りの教室を行いました

数値データ

要介護度別(上段:利用日数/下段:利用者数)月次合計表

単位:日/人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	1ヶ月平均	
														利用日数	実利用者
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
生活													0	0.0	0.0
指導型													0	0.0	0.0
要介護	53	66	66	70	73	71	72	75	81	92	64	57	840	70.0	6.9
1	6	7	7	7	7	7	8	9	8	7	6	4	83		
要介護	4	6	6	7	11	16	4	17	18	14	37	45	185	15.4	2.6
2	1	1	1	2	2	2	1	3	5	5	4	4	31		
要介護	34	9	15	28	18	49	37	40	38	50	37	69	424	35.3	4.6
3	2	2	5	6	5	7	4	5	5	5	5	4	55		
要介護	44	64	38	31	12	22	3	3	0	4	0	0	221	18.4	1.5
4	4	3	3	2	1	2	1	1	0	1	0	0	18		
要介護	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	5	0.4	0.2
5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2		
給付	135	145	125	136	117	158	118	135	137	160	138	171	1675	139.6	15.8
合計	13	13	16	17	16	18	15	18	18	18	15	12	189		
合計	135	145	125	136	117	158	118	135	137	160	138	171	1675	139.6	15.8
	13	13	16	17	16	18	15	18	18	18	15	12	189		

月別1日あたりの平均利用者

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
平均	4.5	4.7	4.2	4.4	3.8	5.3	3.8	4.5	4.4	5.2	4.9	5.5	4.6

月別稼働率

単位:%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
%	113	117	104	110	94	133	95	113	111	129	122	138	103

月別新規利用申込者数及び契約者数

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申込者数	2	0	3	3	3	4	1	0	3	1	1	0	21
契約者数	2	0	3	3	3	4	1	0	3	1	1	0	21

デイサービスセンターさんすい

売り上げ目標達成率89.5%に対し、稼働率目標達成率86.8%と計画を大きく下回りました。年度始めから、約2か月間行政の指導により新型コロナウイルス対策で利用の自粛を促進したため登録者が激減し、その後も回復せず、年間を通じての低迷となりました。

【売上】

事業目標額56,482千円に対し約600万円の未達成となりました。新規利用者は年間28名と過去最高となった反面、登録廃止者も28名と過去最高で結果に繋がりませんでした。

【営業活動】

三田市内全域の居宅支援事業所や支援センターへの訪問を積極的に行い、活動内容の案内やパンフレット・半年毎のチラシ配布行う予定でしたが、新型コロナウイルス対策で年間を通じてわずかな訪問となりました。その対策としてホームページの内容変更や新着情報の掲載等SNSでのPRを行いました。

【他事業所との差別化】

ユニバーサルスポーツの取り組みは、密になるため休止しましたが、皆勤者表彰制度は継続しています。当施設から15km以内の市外の方の送迎の受け入れも順調に行っています。あいの保育園との交流会は中止が続いたため、年度末のオンラインでのイベントの中で映像も楽しめる企画を実施し、地元新聞社にも記事にして頂きました。また、さんすい園福祉セミナーでは、レクレーション体験を出前で行い好評を得ました。

【人材育成】

人事考課制度、OJTを通し、職員のやる気を伸ばし、より良いサービス・接遇の指導を行った結果チームに変化が出て来ています。他事業所とのオンライン研修を行い、職員のモチベーションアップに繋がりました。

【レクレーション】

バラエティー、季節感を味わえるレクレーションを目標に取り組みました。認知症予防、ダイルームの塗り絵、モザイク塗り絵、書道等を行いました。おやつ作りは感染予防のため休止しました。また、父の日や母の日に手作りのプレゼントや作品集の配布を行いました。利用者の方からは毎回の行事は何があるか楽しみであり、プレゼントは高評価を頂きました。



保育園交流会



さんすい園福祉セミナー

数値データ

要介護度別利用者数

単位:人

要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	4	1	7	8	6	9	9	9	7	7	7	8	82
要支援2	11	7	11	11	9	9	10	9	7	7	7	7	105
要介護1	22	21	27	25	24	23	26	27	25	25	23	22	290
要介護2	6	5	5	7	8	8	9	9	12	11	10	10	100
要介護3	6	5	6	5	8	8	8	8	7	8	6	7	82
要介護4	4	3	3	3	5	5	2	2	3	2	1	0	33
要介護5	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	2	3	32

要介護度別平均年齢

単位:歳

年齢	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	最高年齢	最低年齢
男性	90.5	89	86.9	68.3	85.2	0	85.5	92	68
女性	86.4	88.5	87.9	88.3	88.5	86.8	82.5	100	65
平均	87	88.6	87.7	86.5	87.7	86.8	83.6	/	/

稼働率

単位:%

サービス事業者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	稼働率
目標	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85.0%
実績	50.0	53.3	75.3	80.4	81.0	81.4	83.2	81.4	74.9	77.8	73.5	73.6	73.8%

売上

単位:人/千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用人数	目標	563	535	563	586	535	563	563	535	563	586	535	563	6,690
	実績	330	337	498	555	510	537	330	337	498	555	510	537	5,534
	差	△ 233	△ 198	△ 65	△ 31	△ 25	△ 26	△ 233	△ 198	△ 65	△ 31	△ 25	△ 26	△ 1,156
金額	目標	4,839	4,584	4,839	5,012	4,584	4,839	4,839	4,584	4,584	4,383	4,383	5,012	56,482
	実績	3,130	3,104	4,278	4,761	4,584	4,718	4,808	4,494	4,186	4,189	3,917	4,339	50,508
	差	△ 1,709	△ 1,480	△ 561	△ 251	0	△ 121	△ 31	△ 90	△ 398	△ 194	△ 466	△ 673	△ 5,974

季節行事実施内容

月	内容
4月	花見弁当
5月	通常レク
6月	デモクック
7月	七夕会
8月	花火ゲーム
9月	敬老会
10月	通常レク
11月	鍋
12月	クリスマス会
1月	疑似初詣
2月	節分会
3月	ひな祭り会

ケアハウスブルーさんすい

令和2年度は「その人らしく自由で笑いのある安心した生活の実現を目指す」をキャッチフレーズに運営に取り組みました。また職員の行動指針を、令和2年度に策定し「三翠会行動指針」の7項目について月間取り組み項目を設定し、職員間で個々での取り組み、取り組みに対する感想や意見交換を行いました。

【経営面】

令和2年度も、補助金交付の要件である「毎月1日満室」に向けて活動したが、計3か月間未達成となりました。要因は、夫婦部屋入居者の内、1名分の空所期間が続いたことによるものでした。年間の退居者は2名、入居者も2名でした。また、令和2年度は「稼働率98%」を目標として掲げておりましたが、実績は94%となりました。年間収入目標38,742千円に対して実績は39,731千円となりました。

また、付加的サービスについては従来からの送迎サービスや服薬管理を中心に行いました。更に、令和2年度より新たなサービスとして「受診同行サービス」を追加し、緊急時の対応として利用いただきました。付加的サービスの月平均収入は25,000円となりました。

【生活面】

令和2年度はコロナ禍の中、どのような楽しみ方ができるのかについて考え、ケアハウス内の行事の充実にも力を入れました。具体的には季節感のあるおやつ作りや、お茶会の実施等を行いました。また、藍高齢者支援センター(現 藍地域包括支援センター)との連携、協力によりケアハウス入居者の中から「いきいき百歳体操」グループを立ち上げ、週に一度の健康体操を行うことでADL低下防止への取組にも繋がりました。

【相談援助、連携】

家族の入館、面会制限に伴い家族支援が受けられないことによる生活上の課題が多く見られました。そのため、担当ケアマネジャーを中心に他職種との連携を強化し、サービス調整を柔軟に行いました。また、自粛生活が続くことによる精神面へのケアも重要となり、お一人お一人の入居者からの相談に対し、真摯に対応を行うよう職員一同努めました。



いきいき百歳体操の様子



マスク不足の際に手作りマスクを寄付しました。

数値データ

在籍者数、入退去者数、最高・最低年齢・平均年齢(毎月2日現在)

単位：人

	初日在籍者数			退居者数			入居者数			初日最高・最低年齢				初日平均年齢		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男		女		男	女	計
										高	低	高	低			
4	2	18	20	0	0	0	0	0	0	81	75	92	72	78	85.1	81.5
5	2	18	20	0	0	0	0	0	0	81	75	92	72	78	85.1	81.5
6	2	18	20	0	0	0	0	0	0	81	75	93	72	78	85.2	81.6
7	2	18	20	0	0	0	0	0	0	81	75	93	72	78	85.3	81.7
8	2	18	20	0	0	0	0	0	0	81	75	93	72	78	85.4	81.7
9	2	18	20	0	0	0	0	0	0	81	75	93	72	78	85.5	81.8
10	2	18	20	0	0	0	0	0	0	82	75	93	72	78.5	85.6	82.1
11	2	18	20	0	1	1	0	0	0	82	75	93	72	78.5	85.6	82.1
12	2	17	19	0	0	0	0	0	0	82	76	93	73	79	85.7	82.4
1	2	17	19	0	0	0	0	0	0	82	76	93	73	79	85.7	82.4
2	2	16	18	0	1	1	0	0	0	82	76	93	73	79	86	82.5
3	3	17	20	0	0	0	1	1	2	82	75	93	72	77.6	81.3	79.5
合計				0	2	2	1	1	2							

要介護度別人数(毎月1日現在)

単位：人

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
自立	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3
支1		4		4		4		4		4		4
支2		4		4		4		4		4		4
介1		4		4		4		4		4		4
介2		3		3		3		3		3		3
介3												
介4												
合計	20		20		20		20		20		20	

区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
自立	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	4
支1		4		4		4		4		4		4
支2		4		4		4		4		3		2
介1		4		4		3		3		3		4
介2		3		3		3		3		3		3
介3											1	
介4												
合計	20		20		19		19		18		20	

ホームヘルプステーションさんすい

収入目標額15,072千円に対し15,535千円を達成しました。登録ヘルパーの減少により、人員体制が厳しくなる中、9月に正規職員を1名増員しました。しかし経常赤字は約200万円から約100万円に改善するにとどまり更なる努力が必要です。令和3年度から正規職員が1名パート職員に変更となるため、収支改善が見込まれます。営業面ではケアマネージャーへの利用者の利用状況報告や、ホームページでの空き情報の公開等を行うことにより実績向上を目指すとともに、きめ細やかなケアを提供する事で好評を頂ける様になりました。

【利用実績】

目標利用数、年間555人に対し、576人。（達成率103.8%）目標訪問回数、4,440回に対し、4,316回（達成率97.2%）年間収入目標、15,072千円に対し、15,535千円（達成率103.1%）という結果でした。

【利用者の状況】

登録者数は令和2年度初め53名、年度終わりには43名と減少しました。要支援の方が増加し介護度が低くなる傾向が続き、身体介護が減少する状態が続いています。その上に、コロナ禍の影響による新規利用の自粛やキャンセルが出た年となりました。

【事業所の体勢】

ヘルパーの人員は、正規職員1名入職、登録ヘルパー1名退職。登録ヘルパーについては、ここ3年で3名減り募集しても入職希望がない状態です。ベテランヘルパー中心になっておりますが、サービス担当者会議時には、利用者の方から安心感があり満足の声も頂いています。

業務改善については、常勤職員の連絡ツールそしてスマートフォンを導入しており、LINEを使用して連絡調整する準備を進めています。

【人材育成】

定例会での職員教育の向上を目指し、従来の利用者カンファレンスをポイントを絞り時間短縮して実施することにより、研修内容の充実に繋げています。又、年間研修計画も法人研修計画を取り入れ研修計画を作成しています。

【新規事業】

保険外サービスを開始してから2年目を迎え順調に実施しています。ニーズは少ないながら利用者の希望に応える事で新規利用者開拓に繋がればと思い、まずは介護保険サービス利用者のみに利用頂いています。



広告用写真



職員が描いたホームページの挿絵

数値データ

訪問回数・訪問時間

単位：回／時間

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
回数	341	344	333	353	323	349	409	434	365	368	321	376	4316	359.7
時間	282	448	278	299	270	297	337	319	290	285	273	318	3696	308

利用者数

単位：人

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
目標	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	555.6	46.3
介護	29	26	25	29	24	29	31	29	27	27	23	22	321	26.75
支援	24	23	21	22	20	20	20	22	20	20	20	20	252	21
合計	53	49	46	51	44	49	51	51	47	47	43	42	573	47.75
増減	7	3	△ 0	5	△ 2	3	5	5	1	1	△ 3	△ 4	17	

サービス別訪問回数(介護)

単位：回

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体	37	31	26	29	23	24	57	57	54	61	42	53	494
身体生活	62	60	71	78	61	59	55	63	69	77	87	115	857
生活	88	93	88	103	106	138	153	137	119	108	73	77	1283
合計	187	184	185	210	190	221	265	257	242	246	202	245	2634

型別訪問回数(総合事業)

単位：回

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪サⅠ	51	50	49	44	44	41	45	48	44	41	38	51	546
訪サⅡ	68	66	68	68	60	56	62	59	55	56	70	71	759
訪サⅢ	26	26	26	27	23	26	27	25	16	12	0	0	234
合計	145	142	143	139	127	123	134	132	115	109	108	122	1539

目標と実績額

単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	15,072
実績	1,235	1,235	1,243	1,300	1,175	1,277	1,453	1,425	1,241	1,330	1,223	1,398	15,535

グループホーム薬師のさと

「入居者一人ひとりが、その人らしい喜びや楽しみのある生活を送れるよう支援します」をキャッチフレーズに、コロナ禍の中でも安心や楽しみを感じて頂けるよう考え、生活の支援を行いました。

【入居者の利用状況】

年間稼働率は平均98.5%と目標値を達成しました。入院者が3名、入退居は年度をまたぎ6名の方の入れ替わりがありました。収入は目標87,907千円に対し実績89,254千円でした。退去理由は入院後亡くなられた方が1名、ADL低下で特養への入所を家族が希望をされた方が5名、計6名でした。入院者が10月から12月にかけて3名ありました。

【生活、活動面】

コロナ禍の影響で行事や外出は控えることが増えました。入居者は日常生活の中で、食器を洗ったり、洗濯物を畳んだり、出来る限りのお手伝いをして頂き職員共々楽しく話をしながら行っています。リビングでは入居されている方それぞれの楽しみ方で過ごしています。コロナ禍の為玄関先やベランダで外気浴を行ったり、観音様へお参りに行かれたりという近辺での活動を多く行いました。リビングでYouTubeを楽しめるようにし、色んなニーズに合った映像を流したり、レクリエーションもボーリングや風船遊び、作品作り、ゲームなど室内で出来ることを工夫して行いました。

【健康面】

毎朝サンヒルズクリニックへ入居者の個々の健康状態の変化を報告し、大きな変化があればケアカンファレンスを行い、家族との連絡を密にして、医師と相談して受診や薬の調節等行ってきました。終末期の心配をした方も3名おられましたが、3名とも回復され特養への転居となりました。

【人材育成】

職員研修は大人数が集まった研修が難しかった為、各フロアごとに映像やワークを中心に行いました。サービス向上委員会の取り組みを中心に不適切ケアについて考える機会もありました。外部研修として認知症実践者研修に2名派遣し、法人内の職員研修にて映像での伝達機会を設け、研修発表も行いました。



リビングでクラゲゲームを行っています。



神輿を作り、秋祭りを行いました。

数値データ

市町村別入居・退居・在籍、稼働率状況(月別)

単位:人/％

月別 市町別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
三田市	18	18	18	17	18	18	17	17	18	18	18	18	17.8
入居者数	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0.4
入院者数	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0.4
退去者数	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0.4
合計	18	18	18	17	18	18	17	17	18	18	18	18	17.8
稼働率	99.6	100.0	100.0	99.2	100.0	100.0	97.1	94.6	92.8	100.0	99.0	99.4	98.5

要介護度別

単位:人

区分	4月		5月		6月		7月	
	男	女	男	女	男	女	男	女
要介護1	0	3	0	3	0	3	0	3
要介護2	1	4	1	4	1	4	1	4
要介護3	1	4	1	4	1	4	1	4
要介護4	0	4	0	4	0	4	0	4
要介護5	0	1	0	1	0	1	0	0
合計	18		18		18		17	
区分	8月		9月		10月		11月	
	男	女	男	女	男	女	男	女
要介護1	0	3	0	3	0	3	0	3
要介護2	1	5	1	5	2	5	2	5
要介護3	1	4	1	4	1	3	1	2
要介護4	0	4	0	4	0	4	0	4
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18		18		17		17	
区分	12月		1月		2月		3月	
	男	女	男	女	男	女	男	女
要介護1	0	4	0	4	0	5	0	5
要介護2	2	5	2	5	2	5	2	4
要介護3	1	2	1	2	1	2	1	3
要介護4	0	4	0	4	0	3	0	3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18		18		18		18	

介護度平均
2.27

藍高齢者支援センター

【藍地区の状況及び地域での活動】

三田市の高齢化率は35.3%と令和元年度より約2.1%上がり年々高齢化が進んでいます。1人暮らし世帯、高齢者世帯が増加傾向となっています。虚弱・支援が必要な方々に早期に関わることで、重度化を防ぎ今の生活が安心して継続できるように、元気なうちから関わりを持ち「何かあったら、支援センターに相談すれば安心」と思ってもらえるように、顔の見える関係づくりに努めました。藍市民センターにも週1回の出張相談の場を設けています。生活支援コーディネーターや地域の民生委員等と話し合いの機会も増やし連携を深めています。毎月1回「見守り藍隊会議」に参加し、地域の活動者や各関係機関の方とのネットワーク構築を図り関係性の強化に努めています。令和2年度も「見守り藍隊BOOK」の更新作成を協働して行いました。

【相談内容】

相談件数は339件と令和元年度より増加傾向にあります。相談内容の内訳として、介護保険サービス利用の相談が最も多く、次いで生活全般、健康・認知症に関する相談の順に多くなっています。介護保険の申請代行は73件、住宅改修・改造の申請は17件など、合計91件の申請を支援しました。毎年実施されている高齢者調査では対象が75歳以上のため、それ以下の年代の方の実態が不明なことが多いため、地域のより広い年代の方へ向けて高齢者支援センターの機能を周知していく必要があります。

【地域保健福祉活動】

コロナ禍の影響で、小地域高齢者のつどいや老人クラブ活動の中止が相次ぎ令和元年度より出務回数が減少しました。活動を再開した場所に33回出向き延414名の方と出会い、健康チェックや個別相談も行いました。いきいき百歳体操グループを立ち上げようとしていた1か所のグループをサポートし、フォローアップも行っています。「いきいき百歳体操」の啓発講座の開催も予定していましたが、コロナ禍の影響で中止しました。

【認知症対策】

前年度と同様に「お日さまカフェ（認知症カフェ）」を毎月1回、つつじ交流広場の喫茶に合流する形で開催しました。認知症の方やそのご家族の居場所づくり、地域住民の認知症への理解が深まるよう支援をしました。認知症介護者の集いを年3回実施する予定でしたが、コロナ禍の影響で1回のみで開催となりました。同じ悩みを持つ介護者同士の意見交換の場を設け2名の参加がありました。

【地域包括ケアシステム】

市内6か所の支援センター間の連携や自身のスキルアップに努めました。また、12月に地域のボランティアグループからケアマネジャーと意見交換をしたいという声が入り、相互理解を深めるため、感染予防に十分配慮しながら開催しました。ケアマネジャー21名が参加し意見交換を行いました。一方で3高齢者支援センター（広野・本庄高齢者支援センター・三輪北・小野・高平高齢者支援センター・藍高齢者支援センター）と共同で市内の居宅介護支援事業所を訪問しケアマネジャーとの情報共有、意見交換を行う予定でしたが、緊急事態宣言が発出されたため延期しました。



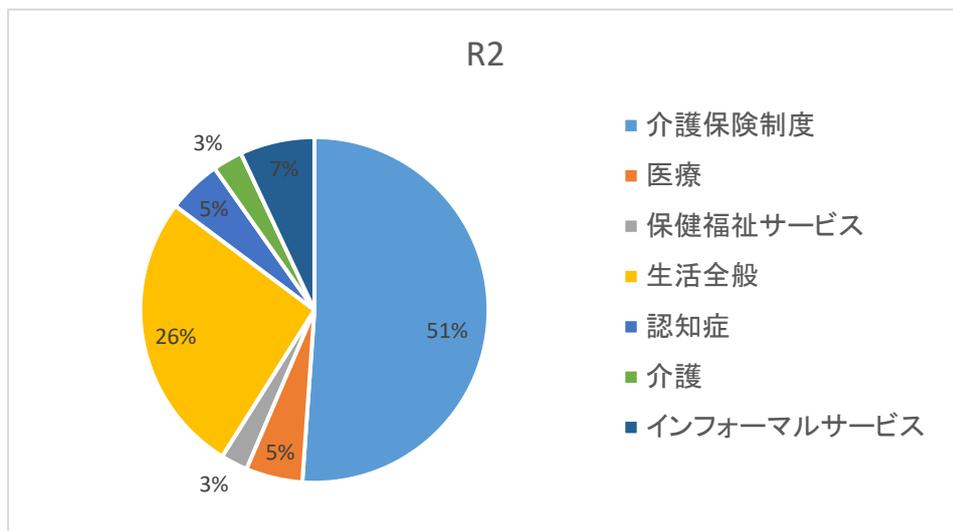
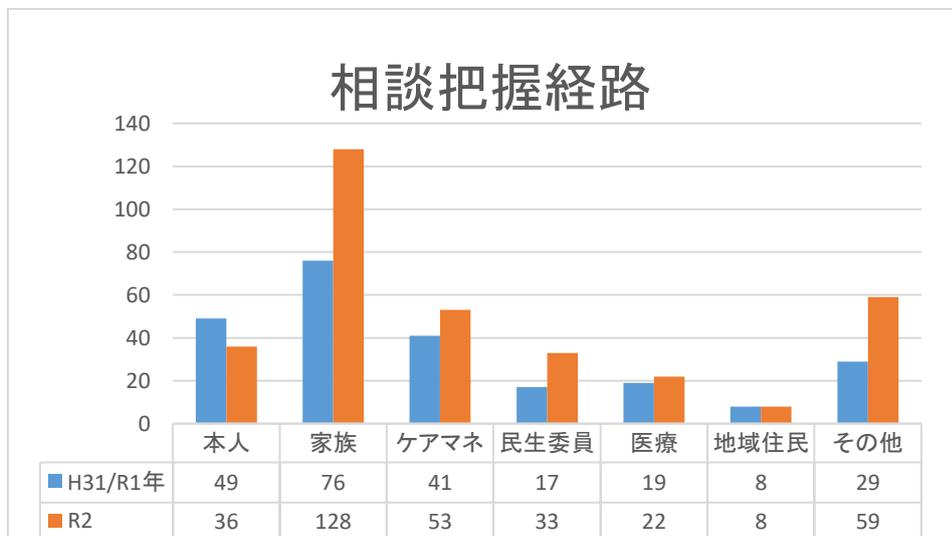
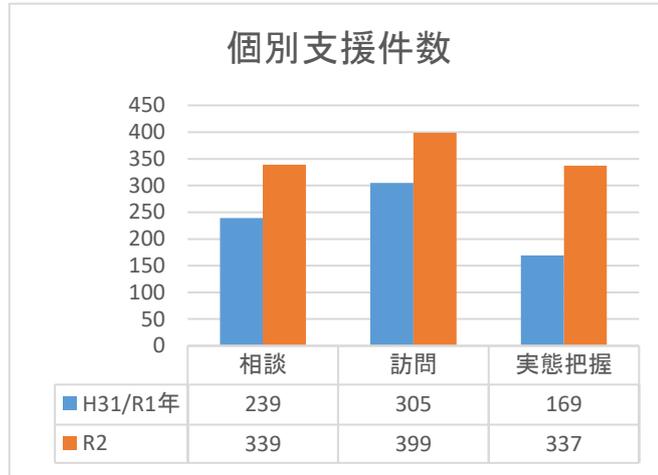
ボランティアグループとケアマネ交流会



ケアハウスいきいき百歳体操

数値データ

登録者数: 475件



さんすい園居宅介護支援事業所

令和2年度は、住み慣れた地域・自宅での生活を支える柱となるよう、地域に根ざした事業所を目指して利用者の支援にあたりました。コロナ禍の中、利用者のサービスが滞ることのないよう心を砕いた1年でした。

【利用実績】

収入目標29,935千円に対し実績は26,685千円。介護給付目標1,617件に対し実績は1,401件（令和元年度実績と同じ）。予防給付目標660件に対し実績は721件。要支援は目標達成できたものの、全体では目標を下回る厳しい結果となりました。

【介護度分布】

要介護の利用者は令和元年度と変わらず1,401件ですが、要介護3以上の利用者は25件減少し全体の13%です。要介護1・2は全体の53%。要支援は令和元年度から93件増え全体の34%となっており、令和元年度の31%から微増しています。

新規利用者の介護度は要支援より要介護が多いものの、長期入院・入所・逝去等で終了するケースが要支援よりも多くなっています。

【ケアマネジャー体制】

新任ケアマネジャーを4月に迎え5人体制としてスタートする予定でしたが、5月に入職が延期となり目標達成に多少の影響が出ました。

コロナ禍の中、担当者会議やモニタリング訪問、研修、事業所・ケアマネジャー同士の交流等、スタンダードなケアマネ業務が行えない状況下で、新任ケアマネは業務の習得に苦労があったと思われます。平常時の動きについても今後学びを進めていきます。

【専門職としての資質向上】

年度初めに個別の課題に応じた研修計画を立て知識の習得に励む予定でしたが、今年度の外部研修はコロナ禍の影響で開催回数が激減しました。令和元年度は1人あたり約13件参加しましたが、令和2年度は約7件となりました。そんな中、オンライン研修が初めて試みられ、2月に個々のタイミングでケアプラン作成研修を受講しました。

また、実際の支援の中、個々で取り寄せた情報は事業所内で共有し、均一な支援となるよう努めました。

【地域への専門知識の還元】

事業所の持つ専門性を地域に還元するため、“よりよい未来のために知っておきたい大切な話”として「一緒に学ぼう！介護保険講座」を行う準備を整えました。

コロナ禍の中、地域での集会・イベント中止に伴い、出前講座の依頼はありませんでしたが、ケアマネとして地域に何ができるのかを深く考える機会となりました。

【要介護認定調査受託数】

新型コロナウイルス感染拡大予防のための特別措置として、認定調査を希望しない場合は要介護認定の1年延長が可能になっており、それに伴い認定調査の受託数も激減。昨年度の164件から66件にまで下がり、昨年度と比べ435,040円の減収になりました。

今後は認定調査の収益に依存せず、介護給付・予防給付のみでも目標が達成できるような給付管理を目指します。



事業所内で情報共有



モニタリング訪問

数値データ

月別要介護度

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要支援1	28	27	31	30	29	31	31	31	32	35	35	36	31.3
要支援2	27	28	29	28	28	28	29	30	31	30	28	29	28.8
要支援計	55	55	60	58	57	59	60	61	63	65	63	65	60.08
要介護1	68	66	70	67	64	63	63	65	64	62	63	62	64.7
要介護2	24	23	24	24	25	31	30	31	30	34	33	35	28.7
要介護3	17	13	9	14	11	13	15	14	13	14	15	15	13.6
要介護4	5	5	6	5	5	7	8	8	7	7	6	7	6.3
要介護5	2	3	2	5	3	5	4	4	3	3	4	3	3.4
要介護計	116	110	111	115	108	119	120	122	117	120	121	122	116.8

月別の利用者宅訪問状況

単位:件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	182	168	222	226	173	210	209	183	242	161	207	232	2415

新規利用者介護度

単位:回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	2	0	5	1	1	3	1	2	3	3	1	1	23
要介護	2	1	6	4	1	4	5	3	3	3	2	8	42
合計	4	1	11	5	2	7	6	5	6	6	3	9	65

新規担当依頼

単位:回

依頼元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括	1			1		2	1		2		1	1	9
支援センター	2			2	3	4			1		2	2	16
病院				1						1	1	1	4
事業所	1	1					8	4	3				17
直接・その他	1		1		2			2		2	1	3	12
合計	5	1	1	4	5	6	9	6	6	3	5	7	58

月別の要介護認定に関する状況

単位:件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
調査受託数	7	0	1	6	3	6	10	6	6	10	5	6	66

地域サポート施設さんすい園

【地域サポート施設の現状】

社会福祉法人として地域社会に貢献するため、三翠会職員として自覚を持ち真摯に利用者向き合えるよう努力しました。

安心見守りサービス利用者2件契約解除がありました。理由は高齢夫婦宅で緊急通報システムに変更した。女性一人暮らし宅でケアマネジャーと相談し介護保険事業に移行したものでした。

一方、藍高齢者支援センターの紹介で1件、民生委員の紹介で1件利用開始に繋がりました。

地域サポート施設として、地域ニーズに的確に応じた取り組みとなるよう、三田市、社会福祉協議会、地域包括支援センターと意見交換を行いました。要望のあった項目が実践出来るよう、地域全体に関わる事については「見守り藍隊会議」に出席し発信しました。

24時間365日見守りサービスが遂行できるように、法人内職員にサポート施設の役割と法人としての使命を理解してもらい、グループホーム職員や緊急協力隊員と情報の共有を行いました。

【安心見守りサービス】

週2回の安否確認の電話、月1回からの訪問を行いました。コロナ禍の影響で、家族や知り合いの方達と以前のように、気軽に話す事や外出が減少し、安心見守りサービスの電話や訪問を楽しみに待ってられます。決められた曜日で電話や訪問を実施、会話をしたり出会う事で、利用者の健康状態の把握や精神面の観察など行いました。1人ではない、何かあれば相談できる職員さんや施設が有ると言われ、地域貢献が実感出来ました。

訪問は新型コロナウイルス感染予防を十分に行って訪問しています。玄関先での訪問、自宅に入らない等の希望は応じています。話を聞き必要に応じ、藍高齢者支援センターと連携を取り、利用者の相談支援をしてきました。

令和2年度は、コロナ禍の影響で、集いなどは出来ませんでした。終息した折には利用者の要望に添えるよう検討します。

【相談内容】

- ・新型コロナウイルスで外出が減少→筋力をつけて貰う為、貯筋体操のパンフレット配布
- ・検査で貧血が判明→栄養を摂る目的と食事の習慣をつける為、配食サービスに繋げる。
- ・軽度の認知症→恒生病院受診同行をケアマネジャーから相談。受診同行に繋げる。
- ・介護保険更新申請が弱視で出来ない→藍高齢者支援センターに繋げる。
- ・ご主人が、パーキンソン病で長期療養で永眠→寄り添い心のケアをする。
- ・高齢男性でデイサービスを希望。家事がしんどい→藍高齢者支援センターに相談。長男と連絡をとり、介護保険事業に繋げる。



見守りサービス訪問



見守りサービス安否確認電話

数値データ

家庭状況

独居 10件(男性2名、女性8名)
日中独居 1件(女性1名)

介護認定状況

要支援2 2名 法的サービス利用 1名
要支援1 4名 法的サービス利用 1名

藍地区別利用者数

つつじヶ丘南 6名
つつじヶ丘北 4名
大川瀬 1名

月別利用者数、夜間出動数

単位:人

平均利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		12	10	10	10	10	12	12	11	11	11	11	11
夜間休日緊急出動数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢構成

単位:人

	65歳～70歳	71歳～75歳	76歳～80歳	81歳～85歳	86歳～90歳	91歳～95歳
つつじヶ丘	0	0	2名	4名	2名	2名
藍本	0	0	0	0	0	0
大川瀬	0	0	0	1名	0	0

年齢別・男女別利用者

単位:人

	65歳～70歳	71歳～75歳	76歳～80歳	81歳～85歳	86歳～90歳	91歳～95歳
つつじヶ丘	0	0	女性	女性	女性	男性
藍本	0	0	0	0	0	0
大川瀬	0	0	0	女性	0	0
家庭状況	0	0	独居	独居	独居	独居
					1	1

保育所あいの保育園

【保育運営】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら保育に取り組む1年でした。4月22日から5月31日まで特別保育に切り替わった事で、職員が在宅ワークとなりました。在宅ワークの内容は、手作りおもちゃ作成と専門書を読んでレポート提出としました。作成した作品とレポートは職員間で共有をし、保育の向上に努めました。通常の保育時間内では難しかった手作りおもちゃの作成ができた事で、どの手作りおもちゃも職員の思いが込められていて工夫を凝らした物でした。又、そのおもちゃを使って遊ぶ子どもたちも喜び、手づくりの良さを改めて感じました。

年間行事の内容も、コロナの感染状況等を鑑みて参加クラスと保護者の人数制限をした上でクラス入替え制で取り組みました。終了後に保育システムコードモンのアンケートを利用して保護者の声を聴き次回の参考にしました。今後の課題としては、あいの保育園の行事の在り方を見直す良い機会と捉え、ねらいや内容を職員で検討し取り組んでいきます。

乳幼児の発達段階の中で、コミュニケーションスキルに繋がる表情を見るという大事な発達の段階が、職員のマスク着用により欠けてしまうことが不安でした。安全面を最優先しながらも、少しでも軽減できるように全体説明の時にはマウスシールドを着用し、誰が喋っているのか表情が見えるように配慮しました。マスク着用が続く中で、乳幼児の発達の変化などに気づき、園で担えなくなっている部分を家庭で意識して取り組んでいただけるように発信する事も心掛けてきました。

【さんすい園交流】

同一法人の良さとしていたさんすい園の方との交流が、コロナ禍の中で行うことができなかった事が残念でした。高齢者の方との交流を通して、労りの気持ちや、思いやりの気持ちが育つ大事な交流だと捉えています。対面での交流はできなかったですが、自分たちが育てたじゃが芋をお裾分けしたり、リモートでクイズをしたり、間接的な交流を持つことができました。直接触れ合える交流ができるようになるまでは、交流の方法を模索しながら取り組んで行き、子どもたちの中でさんすい園が身近に感じられるように保育していきます。

【補助金・収入面】

収入予算額143,412千円に対する実績は145,643千円と101.5%を達成しました。今年度はコロナ禍における保育等慰労及び継続従事奨励金給付事業補助金として、職員1名につき5万円の慰労金の給付がありました。

【職員体制】

保育士の退職に伴い、三田市保育士就職フェアで募集を行い、経験者2名の就職につながりました。また本園を退職された方が再就職を希望したケースもありました。休憩の確保や有給休暇の消化率の向上等、職場環境の改善に務めました。

【職員研修】

コロナ禍の中、外部の研修に参加する会場までの間の感染リスクを考慮し、外部研修には参加しませんでした。感染対策をしっかりと取った上で、講師の先生を招き園内研修を3回開催しました。保育所保育指針の解説や、カリキュラムの書き方考え方等「子どもの主体性を大切にする保育」を意識できる内容を企画しました。今後も、保育士にとって自分を向上できる研修内容をリーダー会議で検討し、継続的に取り組み長期的な職員育成に努めます。

【その他】

- ・ハグセーフティセンサーマット6台
- ・電解次亜水生成装置（コロナ補助金対象）
- ・外壁工事



園舎外壁工事



オンライン交流

数値データ

地域別登園状況

単位:人

地域別	園児数
つつじが丘／大川瀬	14
相野	4
藍本	3
本庄／須磨田	7
広野	27
カルチャー	15
ウッディー	15
フラワー	8
三田	5
三輪	7
小野	2
高平	6
* 他市受託(篠山・加東市)	2
合計	115

月別入園退園児数及び在園児数

単位:人

月	入園児数	退園児数	在園児数
4	18		108
5	0		108
6	1		109
7	0		109
8	1		110
9	1		111
10	1	1	112
11	1		112
12	2		114
1	1		115
2	0		115
3	0		115
計	26	1	

一時預かり状況

単位:日/件/%

月	開園日数	利用延べ件数	稼働率
4	21	39	15.5%
5	18	14	6.5%
6	22	86	32.6%
7	21	143	56.7%
8	16	121	63.0%
9	20	154	64.2%
10	22	158	59.8%
11	19	160	70.2%
12	20	171	71.3%
1	19	126	55.3%
2	18	160	74.1%
3	23	222	80.4%
計	239	1554	平均54.1%

年齢別園児数

単位:人

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
4月	5	18	20	20	20	25
5月	5	18	20	20	20	25
6月	6	18	20	20	20	25
7月	6	18	20	20	20	25
8月	7	18	20	20	20	25
9月	8	18	20	20	20	25
10月	9	18	20	20	20	25
11月	10	18	20	19	20	25
12月	11	18	20	20	20	25
1月	12	18	20	20	20	25
2月	12	18	20	20	20	25
3月	12	18	20	20	20	25
合計	103	216	240	239	240	300

サンヒルズ八景1番館

【経営状況】

年間稼働率に関しては目標95.8%に対して95.1%と未達成に終わりました。下半期の長期入院、またコロナの影響による入居判定後の入居辞退や診断書の遅延が要因でした。

収入目標は達成したものの上半期の好調によるもので、下半期は課題が残りました。収入目標達成の要因は介護福祉士取得者の増加によるサービス提供体制強化加算Ⅰロが取得できたことによります。令和3年度に向けて、早期面談、早期診断書依頼により、Aランク待機者（すぐに入居したい待機者）の確保を行っていきます。

【サービスの質向上、人材育成】

コロナ禍により、事業計画に掲げていた外出の機会確保や研修（グループワーク）によるチームケア、看取り、認知症ケアの学びが困難な環境でしたが、屋上での行事や、各フロア独自での企画等、今の環境でできる限りの楽しみを考えていきました。その結果、ダイルームでの「喫茶ひまつぶし」や屋上での花火大会等、今迄に無い発想や工夫も生まれてきました。研修についても、書面での報告や事例検討、アンケート、動画を使っただけの研修や、極少数人数での研修を繰り返す中で、研修参加率は100%となりました。

【業務の効率化、合理化、環境整備】

4月より戦略室が本部に移転し、合わせて業務の効率化を図るべく、事務所の統合や備品庫、職員休憩室の確保を行いました。導線が短くなったことで、効率化・合理化が図れ、合わせてコピー機等の大幅なコストカットのきっかけにもなりました。

リハビリ室が3階から1階に移転し、スペースが広く開放的になったことで、入居者からの評判も良く、リハビリだけでなく、楽しい時間・場所にもなっています。

コロナ予防策に関しては、職員の業務中の感染対策への意識を継続するために口頭、張り紙、書面による啓発を進めました。その結果、職員の中で2回陽性者を出しましたが、いずれも入居者や他の職員への感染拡大を防止することができました。

【ICT、情報公開・PR】

ICTへの取り組みにつきましては、オンライン面会（窓越し・LINE）、見守りベッドセンサー設置、ホームページ・SNSでの情報発信、館内案内動画の作成を行いました。いずれも戦略室SEと連携し、法人内の他の事業所に率先して実施することができました。入居申し込みをいただく方からの評価が非常に高く、現在は動画投稿の充実を進めています。

【防災対策】

災害対策については、11月に実際に停電下で非常用自家発電装置を使用する機会がありました。電源・電灯が稼働する場所の確認と、その場合の館内の状況を把握でき、対策を検討することができました。また、カセットボンベ式のポータブル発電機を購入し、使用方法の確認を行いました。災害や感染症により厨房が使用できない場面を想定して、外注による弁当対応を試験的に実施しました。

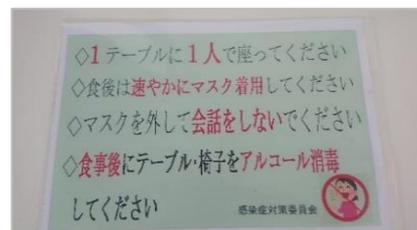
【地域貢献】

地域貢献活動については、今まで通り敷地外の歩道や遊歩道の清掃活動は行っていますが、コロナ禍の影響で、その他の取組はできませんでした。

総合的に考えると、特に下半期において稼働率の面はコロナ禍の影響を大きく受けましたが、その他のことに関しては概ね事業計画通り、またはそれ以上の結果を出すことができました。



屋上花火大会



感染対策の啓発

数値データ

入居者の推移・入居率

月	入居者	退去者	特定移行	満室		入居者計	入居率	延入院者	延入院日数	特定稼働率
				特定	サ高住					
4月	1	1	0	96	2	98	100.0%	2	46	97.80%
5月	0	1	0	95	2	97	98.9%	3	55	96.80%
6月	1	0	0	96	2	98	100.0%	6	103	96.00%
7月	1	3	0	93	2	95	96.9%	6	130	95.10%
8月	1	2	0	93	2	95	96.9%	5	99	94.10%
9月	3	3	0	94	2	96	97.9%	3	54	96.10%
10月	2	1	0	94	2	96	97.9%	4	65	95.10%
11月	2	1	0	95	2	97	98.9%	7	103	93.60%
12月	2	5	1	93	1	94	95.9%	8	83	94.90%
1月	3	2	0	94	1	95	96.9%	8	143	92.20%
2月	2	1	0	95	1	96	97.9%	7	152	92.60%
3月	2	1	0	96	1	97	98.9%	4	113	95.50%
平均	1.7	1.8	0.1	94.5	1.7	96.2	98.1%	5.3	95.5	94.90%

介護度別人数 全入居者(特定施設・サ高住)

単位:人/%/介護度

要介護度	人数	比率	平均介護度
要介護 5	2	3.1%	1.67
要介護 4	8	11.2%	
要介護 3	11	9%	
要介護 2	18	18%	
要介護 1	48	47%	
要介護計	87	89%	
要支援 2	4	5%	
要支援 1	6	6%	
自立	0	0%	
要支援・自立計	10	11%	
合計	97	100%	

年齢別構成 全入居者(特定施設・サ高住)

単位:人/%/歳

年齢	人数	比率	平均年齢
60~69	0	1%	89.3
70~79	3	3%	
80~89	44	46%	
90~99	49	49%	
100~105	1	1%	
合計	97	100%	

さんすい厨房

【収益の安定】

療養食加算は、目標とする全体の3割を維持しました。給食材料費の1日1人当たりの予算は824円で、さんすい園では、今年は820円と予算内に収めました。理由は、コロナ禍の影響で、ふれあいバイキングがふれあい弁当になったり、納涼ビアガーデンが中止になったり、災害食(カレー、白飯、白粥、わかめご飯、五目御飯、梅粥、パン、ビスコ)が、賞味期限切れになるので、使用したりしたことによります。また、職員の意識改革を行うため、月1会の厨房会議で業務の見直し、改善に努めました。

【食の喜び・楽しみ】

コロナ過の中、ふれあいバイキングの中止、各行事の自粛・縮小化により、例年通りの食事による楽しみを感じる機会が減っていましたが、後半はバイキングからお弁当スタイル、鍋では、1度きりのよそい分けによる感染防止など、コロナ過でも楽しめるような食事形態をとり、工夫をし、少しずつ今までの様な季節を感じられる食事提供を再開してきました。またリクエストの多かった握りずしにも挑戦して、利用者に喜んでいただきました。アンケートの実施、新メニューの開発など、令和3年度の取り組みとして、進めていきます。

【食の安全、安心】

ハサップによる衛生管理を、令和2年度に本格的に開始する事に伴いまして、厨房職員の知識の向上に向け、資料作りや話し合い等を行いました。また、日頃の取り組みとして、食品保存温度の定期的な確認、喫食2時間前調理の徹底と、時間内作業への工夫を話し合い、食の安心・安全への意識を高め、取り組んできました。

【低栄養状態の改善】

ケアプランに基づいた適正な栄養ケアマネジメントの継続をすることが出来ました。多職種と情報共有し、健康状態の維持及び低栄養状態の改善に向けて取り組みました。

【配食サービス】

藍地区高齢者見守り活動の一環として、平成30年の秋頃から、ボランティア・アユートの方とさんすい園が協働して、夕食の配食サービス提供を行っています。令和元年度と比べると、1.6倍の利用がありました。令和2年度は、利用者の皆さんに、日頃食事について感じておられることをお聞きしたくて、アンケートをとりました。回答いただいた皆様からは、ご飯・副食の量や味、食べやすい硬さなどちょうど良いという意見がほとんどで、日頃の食事に満足していただいているという結果になりました。これからは出来る限り、要望に沿って実施します。



花見弁当



配食サービス(調理師がアユートさんに夕食の説明をし、手渡しているところ)

数値データ

給食実施状況

さんすい園 食事の提供状況 (ケアハウス・ショートステイ含む)

食事提供業務の形態		直営								
事・ 検査時	朝食	8時00分	7時30分	調査	嗜好調査	年1回 (聞き取り・アンケート・その他)				
	昼食	12時00分	11時30分		喫食量調査	毎食・毎月 回・その他 ()				
	夕食	18時00分	17時30分		栄養食事相談の実施	有 ・ 無				
	保存食の実施		有 (14日)		無	食事を提供した人数	124人			
衛生管理	調理従事者の検便		実施 (年 17回)	未実施	献立	食数 (30年3月31日の状況)				
	<検査項目> 赤痢菌・O-157・サルモネラ菌・ノロウイルス						内訳	普通食 (そのままの状態)	刻み・ミキサー等 (食べやすく加工)	経管・鼻腔栄養等 (器具等の使用)
	防虫・防そ等の駆除作業		実施 (年 2回)	未実施				32人	88人	4人
	大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく点検・記録の有無		有 ・ 無				療養食加算を算定した者の数		29人	
設備・備品 (該当するものに○)	保温・保冷配膳車		保温食器		工夫	行事食	24回/年	選択メニュー	0回/年	
記録帳票	入所者年齢構成表・食事せん・給与栄養目標量・献立作成基準・献立表・検査簿・喫食調査結果・食料品消費日計・給食人員表・実施給与栄養量表		1人1日あたり食材料費			800	円/日 (令和元年度の平均)			
				食堂の利用率		100%	hn			

さんすい園 栄養ケアマネジメントの実施状況

栄養ケアマネジメント計画の作成数		110 件	
栄養ケアマネジメント計画に関わる者の職種と人数		管理栄養士 2人	栄養士 0人
		医師 1人	看護職員 7人
		介護支援専門員 3人	その他 人 (職種:)
内容	スクリーニングの状況	リスク分類状況(3/31)	低リスク者 56人
		再スクリーニング間隔	3ヶ月ごと
		体重測定間隔	月1回
	アセスメントの状況	アセスメント表の作成:	有 ・ 無
	栄養ケア計画の内容	栄養補給量 ・ 補給方法等 ・ 食事に関する内容の説明等	
	解決すべき栄養管理上の課題に対する職種ごとの役割の作成		
	栄養士 ・ 看護職員 ・ 介護支援専門員 ・ その他の者		
栄養ケア計画の説明同意	同意方法:	☑文書 ☐口頭	同意人数:☑全員 ☐未了者有り→ 人
モニタリングの間隔	高リスク者:	2週間ごと	低リスク者: 3ヶ月ごと

サンヒルズ厨房

【収益の安定】

給食材料費の1日1人当たりの平均は予算内824円に収めることが出来ましたが、各食品の値上がりが多くなかなか厳しいものがありました。特に青果においては著しく高騰した月があり、これらの値上がりはコロナ禍での人手不足、輸入食品や輸送コストの上昇などが原因でした。青果においては今年度新規業者と取引を行い、コストダウンに繋げることが出来ました。調味料、冷凍食品においては2社以上での取引を行い、定期的に価格の見直しを行ってきました。また、残食を少なくすることにも取り組んできました。入居者への嗜好調査を実施し、毎食の残食チェックや各職員の検食簿の意見を参考に献立に反映させてきました。

【食の喜び・楽しみ】

コロナ禍の中、食事においても制限があり、バイキングなどのイベントは中止になりました。少しでも入居者が笑顔で過ごせるようにと、食を通して季節を感じ、楽しんでもらえるように取り組んで来ました。また、非日常的な食事が味わってもらえるように仕出し屋さんをイメージするようなお弁当も提供しました。月2回の手作りスイーツはその季節感が味わってもらえ、餅類も食べやすく工夫して出しました。

【食の安全、安心】

食品衛生法の改正により、令和2年6月からHACCPに沿った衛生管理が義務化され、1年間の猶予期間ののち、令和3年6月からHACCP導入が完全義務化になります。それに伴い、衛生管理計画の見直しを行ってきました。今年度は異物混入がいくつかあったことから再度、マニュアルに沿った衛生管理を徹底します。

【咀嚼・嚥下】

高齢化、重度化にともない摂食嚥下困難者が増加しています。極きざみ食のむせ込み防止のため、離水するものにはとろみ剤を入れることを徹底して、食形態の統一に取り組む、お一人おひとりに合った咀嚼・嚥下食を提供しました。

【低栄養状態の予防・改善】

検査データ、栄養アセスメントによりフレイル、低栄養、療養食が必要な人の食事提供を行いました。また多職種と情報共有し、健康状態の維持増進及び低栄養状態の改善に向けて取り組みました。

【働きやすい職場】

新人職員育成プログラムの見直し、業務改善にも努めた結果、新人職員も定着出来るようになりました。

【 BCP 】

厨房職員がコロナに感染した場合を想定して、入居者に安全で確実に食事が提供出来るように対策を講じました。提供マニュアルの作成と近隣の弁当業者2社と納品の話し合いをしました。



お誕生日会 にぎり寿司・松花堂弁当



手作りスイーツ 栗・さつま芋茶巾絞

数値データ

給食実施状況

サンヒルズ八景 食事の提供状況

食事提供業務の形態				直営					
事・ 検食時		食事時間	検食時間	調査	嗜好調査	年1回(聞き取り・アンケート・その他)			
	朝食	8時00分	7時20分		喫食量調査	毎食・毎月	回・その他()		
	昼食	12時00分	11時20分		栄養食事相談の実施	有・無			
	夕食	18時00分	17時20分						
衛生 管理	保存食の実施		有(14日)・無		献立	食事を提供した人数		95人	
	調理従事者の検便		実施(年17回)・未実施			内訳	普通食 (そのままの状態)	刻み・ミキサー等 (食べやすく加工)	経管・鼻腔栄養等 (器具等の使用)
	<検査項目> 赤痢菌・O-157・サルモネラ菌・ノロウイルス 防虫・防そ等の駆除作業		実施(年2回)・未実施				54人	41人	0人
	大量調理施設衛生管理マニュアル に基づく点検・記録の有無		有・無			療養食の種類 糖尿食・腎臓病・貧血食・心臓疾患等の減塩食			
						工夫	行事食	35回/年	選択メニュー
設備・備品 (該当するものに○)	保温・ <u>保冷</u> 配膳車		保温食器		1人1日あたり 食材料費		824円/日(令和2年度の平均)		
記録帳票	入所者年齢構成表・食事せん・給与栄養目標 量・献立作成基準・献立表・検食簿・喫食調査 結果・食料品消費日計・給食人員表・実施給与 栄養量表			食堂の利用率		100% (令和2年3月31日現在)			

戦略室

【 入居者確保の為にルート開拓活動 】

令和2年度も、三田市及び近隣他市所在の居宅介護支援事業所（57事業所）、主要地域医療機関（27事業所）、地域包括支援センター（12事業所）、老人保健施設（17事業所）、その他事業所（15事業所）計128事業所を対象に年間延べ836件（前期比プラス126件）の訪問活動を行いました。その結果、三翠会入居施設全体の申込件数148件（前期末比マイナス8件）、A・Bランク待機者（Aは概ね1か月以内、Bは概ね3か月以内に入居希望）53名（前期末比マイナス3名）、総待機者157名（前期比プラス41名）となりました。

しかしながら、コロナ禍の状況に加え、三田市内に2つの介護施設（特養サンサリテ定員80名、グループホーム井沢の郷定員18名）の開設により申込件数は減少、また例年に比べて退去者が多かった事が要因となり、三翠会入居施設の稼働率の低下となりました。令和3年度においては本年度の反省を踏まえ、健康診断書確保目標設定（特養5件、サンヒルズ3件、グループホーム1件）を行い入居の迅速化を図ると共に、より一層の連携体制を構築します。

【 三翠会の魅力・取組みについての広報活動 】

コロナ禍での活動制限もあり、施設内の状況や活動内容を多くの人に知ってもらう為、ホームページやSNSを情報発信ツールとして活用し、ホームページ、SNS誘導QRコード付の広告物及び名刺の作成を行いました。同時にソーシャルメディア管理規程を作成しました。

【 職員人材確保に向けての取組み 】

令和3年3月「ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定」を三田市内の介護・福祉事業所として初めて取得しました。令和3年度はハローワーク、ホームページ、広報誌、名刺等へ掲載を行い、三翠会がワークライフバランス推進企業である事を広くアピールし、三翠会で働きたいと思って貰えるような求人・広報活動を行います。

その他以下のような取り組みを実施しました

- ・介護福祉士養成校「篠山学園」からの外国人介護福祉士入職にあたり、外国人介護士規程の作成、住居及び生活必要備品の確保、他法人より受け入れ体制、文化的思考等のヒヤリングを行うなど、入職準備対策を入念に行い入職サポートを行いました。
- ・高卒採用を目指し、兵庫県下7高等学校を対象に求人活動実施。
- ・医療・介護求人サイト「ジョブメドレー」さんすい園拠点、保育園の求人掲載開始。
- ・ネット介護求人サイト「カイゴジョブ」求人掲載開始。
- ・「兵庫県移住支援事業・マッチング支援事業」法人申請認可手続き完了。
- ・「兵庫県健康づくりチャレンジ企業」への登録申請完了。

【 人材育成 】

令和3年度三幸福祉カレッジによる実務者研修三田教室（定員36名）の開催を企画し、実施に向け推進活動を行い、令和3年度6月から10月にかけて教室開講の運びとなりました。

【 ICT・IOT・AIを活用した仕事の合理化、効率化対策 】

- ・オンライン面会、オンライン会議に向けた機器の設定及び運用サポート。
- ・オンライン研修・オンラインを活用した保育園との交流会運用の為に動画撮影・動画編集作業の実施。

【 その他 】

- ・三翠会行動指針策定をサポート。



SNS誘導QRコード付き広告媒体



ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定証

数値データ

1、活動実績

訪問件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病院(地域連携)	10	8	6	7	9	6	15	11	18	12	16	14	132
老健	5	5	3	5	4	5	8	5	12	4	13	9	78
地域包括センター	6	5	12	4	4	3	7	8	8	10	9	7	83
居宅介護支援センター	21	24	43	32	38	37	33	44	59	53	47	61	492
その他	1	0	5	12	6	4	7	5	5	2	4	0	51
合計	43	42	69	60	61	55	70	73	102	81	89	91	836

申込件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	6	7	3	8	0	3	7	3	12	2	7	6	64
グループホーム	1	1	1	0	4	2	0	0	0	3	2	1	15
ケアハウス	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	2	8
サンヒルズ	6	8	4	4	6	5	4	3	4	7	4	6	61
合計	13	16	8	12	13	11	11	6	16	13	14	15	148

待機者数	ランク/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前期末比
特養	A	3	3	3	4	7	8	7	5	7	6	4	3	-1
	B	14	15	12	12	7	17	12	14	15	12	9	8	-5
	C	20	23	24	27	25	45	43	45	47	49	46	54	37
	小計	37	41	39	43	39	70	62	64	69	67	59	65	31
GH	A	4	4	5	3	6	7	7	3	2	1	2	2	-1
	B	3	3	3	3	4	5	4	6	4	4	3	3	0
	C	13	13	10	9	9	7	8	8	7	10	10	10	-3
	小計	20	20	18	15	19	19	19	17	13	15	15	15	-4
ケアハウス	A	10	8	8	6	8	8	8	8	7	6	6	3	-7
	B	7	6	6	9	10	11	11	11	6	7	7	12	4
	C	3	5	5	3	3	3	3	3	8	8	3	8	5
	小計	20	19	19	18	21	22	22	22	21	21	16	23	2
サンヒルズ	A	6	6	10	6	5	6	6	3	7	8	10	10	0
	B	12	17	17	17	16	17	19	25	15	12	12	12	7
	C	18	18	17	21	24	22	22	19	28	31	32	32	5
	小計	36	41	44	44	45	45	47	47	50	51	54	54	12
合計	113	121	120	120	124	156	150	150	153	154	144	157	41	
A,B合計	59	62	64	60	63	79	74	75	63	56	53	53	-3	

見学及び相談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サンヒルズ	2	0	4	6	4	12	9	8	6	10	5	10	76
GH	4	4	2	1	3	9	1	3	2	10	3	2	44
ケアハウス	1	1	1	1	10	4	1	1	2	1	4	3	30

みんなの介護資料請求	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サンヒルズ	2	2	1	5	2	0	0	0	0	0	4	2	18
ケアハウス	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	2	1	8
グループホーム	0	0	0	1	1	4	0	2	0	1	1	1	11
合計	3	3	1	7	3	5	0	3	0	1	7	4	37

事務所

令和2年度は、三翠会の窓口として「明るく」「笑顔で」「丁寧な言葉づかい」をモットーに来訪者に対応しました。

また、令和元年度に引き続き、経費削減の意識付け・業務の効率化に取り組みました。

【接遇面の強化】

三翠会の窓口ということを常に意識し、相手に不快な印象を与えないよう言葉づかいに配慮し、また、マスクをしていることで表情がわかりにくいため、声のトーンに気を付けて接客しました。

【経費削減】

事務用品購入先に事業所追加登録することで、割引率が5%から6%にアップし経費削減に繋がりました。

光熱費の削減として、エアコン設定温度を日々の天候や気温に応じて変更を行ったり、会議室等は終業時間後にエアコン・電気の消し忘れがないか確認を行い無駄を省きました。

消耗品であるコピー用紙を節約するために以下のことを行いました。

- ①プレビューで確認してミスプリントを防ぐ
- ②両面印刷・集約印刷や裏紙を使用する
- ③基本モノカラーで印刷するように各自印刷設定を切り替える
- ④職員に周知してもらうためにプリンターにモノカラー、カラー印刷した時の1枚当たりの料金を表示した

【業務の効率化】

コピー用紙の保存場所を移動することで、取り出しやすくなり時間の無駄を省くことができました。その他、事務所内に軽い台車を置くことで、物品がすぐに片付けることができ時間短縮ができました。

諸届(有給届等)の提出方法を変えることで勤務管理がしやすくなり効率化に繋がりました。

【労働環境の整備】

令和2年度は転倒など6件の労働災害が起きました。労働災害の発生を防ぐため月1回各部署を産業医とともに巡視し、危険な場所がないか確認し、委員会で改善対応の検討を行い、話し合った内容を各部署に文書で通知しました。

年1回、健康診断を実施し、診断結果を産業医に見てもらい「要精密」・「要治療」が必要な職員には受けるよう勧めてきましたが、受診する職員は数名でした。令和3年度は「要精密」・「要治療」の判定があった職員が受診せずに重症化することがないように積極的に働きかけをしていきます。

【その他】

職員全体に指示が伝わらず期限までに書類を回収できないことがあるため、全体にダイレクトに周知する方法を検討します。



コピー用紙の単価表示



コピー用紙の保存場所

委員会・会議の開催状況

法人全体の委員会・会議

【部長会】

実施日	内容	参加者
4月9日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、建物長期寿命化計画の年別計画について、山陽メタルとの交渉経過について、令和元年度の事業報告作成予定について、令和元年度の決算スケジュールについて	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長
5月13日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、建物長期寿命化計画の年別計画2案+その他について、山陽メタルとの経過とスケジュールについて、コロナ対策と今後について、給与締め日の変更と採用表準備(毎1日)・昇給日(4月1日)について、次回理事会の協議事項について	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長
6月3日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、大規模修繕計画の令和2年度工事について、山陽メタルとの経過とスケジュールについて、コロナ対策と今後について、令和元年度事業報告・決算報告・監査報告・社会福祉充実残高について、夏季賞与の支給について、次回理事会次第	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長
7月13日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、コロナ禍における今後の対応について、外国人介護職の採用日程他、保育園の令和2年度工事について、新規保育園開設エントリーについて、114BKとの会議経過について	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長
8月12日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、コロナ禍に対応するための備品調達状況報告、コロナ禍における管理職研修のあり方について、外国人介護職の採用前(後)の支援体制について、保育園の令和2年度工事について、次回理事会	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長
9月11日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、コロナ陽性者が出た場合の施設待機時の対応職員確保状況報告、外国人介護職の採用前の支援報告について、外国人介護職の採用後の配属と支援予定について、次回理事会	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長
10月12日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、コロナ対応の備品・消耗品の購入額の取りまとめ(予定も含む)について、外国人介護職への入職準備支援の最終報告、外国人介護職の採用後の支援予定について、地域包括支援センターの設置予定について、あいの保育園の駐車スペースの確保について検討、さんすい園の外壁・防水工事の入札準備について、公認会計士によるチェックリストについて	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長
11月12日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、サンヒルズ八景でのAIスピーカーの導入について、法人内の待機者システムについて、地域包括支援センターの主任ケアマネの予定について、さんすい園外壁・防水工事の入札準備について、114BKからの提案された更新条件(金利変更)について、令和2年度冬季賞与の支給率について、次回の理事会について	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長

12月14日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、三翠会のWi-Fi設備について報告、定期巡回訪問看護介護事業について、さんすい園の外壁・防水工事の入札概要について、令和2年度冬季賞与の支給率について、次回の理事会について	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長
1月12日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、定期巡回訪問看護介護事業についてのシュミレーション、ホームページのリニューアルについて、介護報酬改定への対応について、人事考課のスケジュールについて、令和2年度3月末の決算見込みについて、令和3年度事業計画事業計画基本方針について、職員人事の検討について	さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長
2月12日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、令和2年度の職員優秀者表彰について、建物長期寿命化計画の見直しについて、期末清算の処遇改善金の支払いについて、4月1日からの県OBの職員採用と次期役員体制について、人事異動について、次回の理事会について	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長
3月9日	合理化・省力化・収益増対策について、戦略室の動きについて、令和2年度補正予算について(最終)、機構図(4月1日付け)、令和3年度事業計画・収支予算(最終案)について、人事異動(最終案)について、次回の理事会について	統括施設長、さんすい園施設長、さんすい園事務長、保育園長、サンヒルズ館長、サンヒルズ事務長

【事業責任者会議】

実施日	内容	参加者
4月17日	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、新人職員研修について、人事考課制度について、働き方改革における業務の効率化について、職員表彰制度について、事業報告について	井堂顧問税理士、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員
5月19日	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、新人職員研修について、人事考課制度専門要素考課表の見直しについて、働き方改革における業務効率化について、ゴミの増量化について	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員
6月17日	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、人事考課制度専門要素考課表見直しについて、新人職員研修について、働き方改革における業務の効率化について、ソーシャルメディア利用管理規程について、廃棄書類について	井堂顧問税理士、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員
7月16日	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、朝礼時間の変更について、新人職員研修について、働き方改革における業務の効率化について、外国人職員の採用について、実務者研修の実施について、コロナ対策の変更について、法人SNSについて、書類提出について	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員

R2.8.17	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症委員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、新人職員研修について、働き方改革における業務の効率化について、外国人職員の採用について、コロナ対策の変更について、介護慰労金について、各種補助金申請について	井堂顧問税理士、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員
R2.9.15	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症委員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、新人職員研修について、働き方改革における業務の効率化について、外国人職員の採用について、コロナ対策の変更について、行動指針(案)について、補助金申請について	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員
R2.10.16	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症委員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、新人職員研修について、働き方改革における業務の効率化について、行動指針の周知について、上半期の振り返りの実施について、コロナ対策の変更について、給与締め日変更について、令和3年度予算請求について	井堂顧問税理士、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員
11月19日	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症委員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、新人職員研修について、働き方改革における業務の効率化について、行動指針の周知について、さんすい園外壁防水工事について、さんすい園での実務者研修開催について、令和3年度予算請求について	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員
12月16日	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症委員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、新人職員研修について、人事考課スケジュールについて、行動指針の周知について、さんすい園外壁防水工事について、さんすい園での実務者研修開催について、令和3年度予算請求について	井堂顧問税理士、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員
1月19日	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症委員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、新人職員研修について、人事考課スケジュールについて、令和3年度介護報酬改定について、令和3年度法人事業計画(案)発表と各部署事業計画の作成について	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員
2月16日	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症委員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、新人職員研修について、人事考課スケジュールについて、令和3年度介護報酬改定について、令和3年度各部署事業計画の作成について、集団指導(WEB)について、会議の年間スケジュールについて	井堂顧問税理士(WEB)、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員
3月22日	職員研修について、消防訓練について、行事について、感染症委員会より、各部署実績(前月の結果及び今後の課題討議)、有給休暇取得の状況確認について、新人職員研修について、人事考課スケジュールについて、令和3年度介護報酬改定について、集団指導(WEB)について、ワクチン接種について	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署主任、管理者、相談員

【実績検討会】

実施日	内容	参加者
7月16日	令和2年度4月～6月実績及び課題に向けての取り組みの検討	経営開発センター(野崎氏)、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署責任者
9月15日	令和2年度7月～8月実績及び課題に向けての取り組みの検討	経営開発センター(野崎氏)、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署責任者
11月19日	令和2年度9月～10月実績及び課題に向けての取り組みの検討	経営開発センター(野崎氏)、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署責任者
1月19日	令和2年度11月～12月実績及び課題に向けての取り組みの検討	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署責任者
3月22日	令和3年度1月～2月実績及び課題に向けての取り組みの検討	経営開発センター(野崎氏)、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署責任者

【事業計画説明会】

実施日	内容	参加者
	コロナ禍により書面配布で実施	

【人事考課研修】

実施日	内容	参加者
12月22日	人事考課面接担当者研修	経営開発センター(野崎氏)、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署責任者

【人事考課調整会議】

実施日	内容	参加者
2月17日	人事考課結果調整会議	経営開発センター(野崎氏)、統括施設長、施設長、事務長、保育園長、館長、人事考課担当者

【収入シュミレーション】

1月13日	令和2年度各事業所の収入シュミレーション	経営開発センター(野崎氏)、施設長、事務長、保育園長、館長、課長、各部署責任者
-------	----------------------	---

【戦略室連携会議】

実施日	内容	参加者
4月10日	・各部署の実績報告 ・三翠会HPの更新、パンフレットの刷新について ・行動指針作成について	統括施設長、施設長、戦略室長、施設課長、各部署責任者、SE
5月11日	・各部署の実績報告 ・三翠会PR動画に 指針作成について ・採用HPIについて ・ソーシャルメディア利用管理規程について	統括施設長、施設長、戦略室長、施設課長、各部署責任者、SE
6月9日	・各部署の実績報告 ・行動指針ワーキングチームについて ・動画による研修について ・三翠会PR動画について	統括施設長、施設長、戦略室長、施設課長、各部署責任者、SE
7月10日	・各部署の実績報告 ・パンフレットについて(価格表の掲載表示見直し等を含む) ・法人公式SNSについて	統括施設長、施設長、戦略室長、施設課長、各部署責任者、SE

8月11日	・各部署の実績報告 ・周辺事業所の現状報告 ・SE業務進捗の報告	統括施設長、施設長、戦略室長、施設課長、各部署責任者、SE
9月10日	・各部署の実績報告 ・外国人介護士入寮の報告 ・行動指針ワーキングチームの進捗報告。	統括施設長、施設長、戦略室長、館長、施設課長、各部署責任者、SE
10月8日	・各部署の実績報告 ・特養、サンヒルズのフィードバック(申込み総数をグラフ化し傾向等を分析)について	統括施設長、施設長、戦略室長、館長、施設課長、各部署責任者、SE
11月8日	・各部署の実績報告 ・特養、サンヒルズの入居者平均介護度の推移、現状報告。	統括施設長、施設長、戦略室長、館長、施設課長、各部署責任者、SE
12月8日	・各部署の実績報告 ・SNSの利用状況 ・共通待機者管理表について。 特養パンフレット見直しについて。	統括施設長、施設長、戦略室長、館長、施設課長、各部署責任者、SE
1月8日	・各部署の実績報告 ・待機者現象に伴うみんなの介護への再掲載について ・三拠点(さんすい、保育園、サンヒルズ)のサークル活動等の企画提案について ・3拠点連携のサークル活動について。	統括施設長、施設長、戦略室長、館長、施設課長、各部署責任者、SE
2月8日	・各部署の実績報告 ・共通の待機者管理表について。3拠点サークル活動について。	統括施設長、施設長、戦略室長、館長、施設課長、各部署責任者、SE
3月8日	・各部署の実績報告 ・共通の見学者用アンケート見直しについて。	統括施設長、施設長、戦略室長、館長、施設課長、各部署責任者、SE

【働き方改革対策会議】

実施日	内容	参加者
6月1日	業務効率化気づきシートの集計結果について 今後の業務効率化への取り組みについて	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、戦略室長、サンヒルズ館長、施設課長、在宅課長、サンヒルズ課長
7月1日	ワーキングチームの進捗状況について 気づきシートの内容への取り組みについて	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、戦略室長、サンヒルズ館長、施設課長、在宅課長、サンヒルズ課長
8月4日	ワーキングチームの進捗状況について 気づきシートの内容への取り組みについて	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、戦略室長、サンヒルズ館長、施設課長、在宅課長、サンヒルズ課長
9月14日	ワーキングチームの進捗状況について 気づきシートへの取り組みについて	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、戦略室長、サンヒルズ館長、施設課長、在宅課長、サンヒルズ課長
10月14日	ワーキングチームの進捗状況について 気づきシートの内容への取り組みについて	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、戦略室長、サンヒルズ館長、施設課長、在宅課長、サンヒルズ課長
11月17日	ワーキングチームの進捗状況について 気づきシートの内容への取り組みについて	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、戦略室長、サンヒルズ館長、施設課長、在宅課長、サンヒルズ課長
12月15日	ワーキングチームの進捗状況について 気づきシートへの取り組みについて	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、戦略室長、サンヒルズ館長、施設課長、在宅課長、サンヒルズ課長
1月20日	ワーキングチームの進捗状況について 気づきシートの内容への取り組みについて	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、戦略室長、サンヒルズ館長、施設課長、在宅課長、サンヒルズ課長
2月18日	ワーキングチームの進捗状況について 気づきシートの内容への取り組みについて	統括施設長、施設長、事務長、保育園長、戦略室長、サンヒルズ館長、施設課長、在宅課長、サンヒルズ課長

【働き方改革対策ワーキングチーム】

実施日	内容	参加者
6月10日	ワーキングチーム発足説明 コスト改善計画について	白谷、藤野、加藤、新谷、中村、脇坂、富田、 森、青木、西嶋
7月10日	コスト改善計画について コスト改善提案書について	白谷、藤野、加藤、新谷、中村、脇坂、富田、 西田、青木、西嶋
8月7日	コスト改善計画について ワーキングチームの今後について	白谷、藤野、加藤、新谷、中村、脇坂、富田、 西田、青木、西嶋
9月10日	コスト改善計画書作成報告 ワーキングチームの今後について	白谷、藤野、加藤、増田、脇坂、富田、西田
11月20日	コスト改善チームについて 各事業所視察について	白谷、藤野、加藤、脇坂、西田
2月12日	ワーキングチーム来年度について 実施内容について	白谷、藤野、加藤、脇坂、西田

さんすい園拠点の委員会・会議

【研修委員会】

実施日	内容	人数
5月18日	4. 5月、6月の職員研修について 職員研修における新型コロナ対策について	4
6月10日	7月、8月の職員研修について 今後の研修方法について	6
7月23日	8月、9月の職員研修について	7
8月12日	9月、10月、11月の職員研修について 階層別研修について	6
9月9日	10月、11月の職員研修について 階層別研修について	8
10月7日	11月、12月の職員研修について 階層別研修について	7
11月11日	12月、1月の職員研修について 階層別研修について	6
12月9日	1月、2月の職員研修について 来年度の研修委員会について	7
1月6日	2月、3月の職員研修について 来年度の年間研修内容について	7
2月10日	3月、4月の職員研修について 来年度の年間研修内容について	5
3月17日	4月、5月の職員研修について 来年度の研修内容実施記録について	2

【サービス向上委員会】

実施日	内容	人数
4月	利用者緊急対応にて中止	
5月15日	身体拘束報告・検討。接遇取り組み、感謝の木について。ニヤリホット	6
6月19日	身体拘束報告・検討。感謝の表明。感謝のシートについて。ニヤリホット	7
7月31日	身体拘束報告・検討。利用者への覚書について。ニヤリホット	8
8月21日	身体拘束報告・検討。感謝シートの活用について。ニヤリホット	6
9月	利用者緊急対応にて中止	
10月16日	身体拘束報告・検討。不適切ケアについて。ニヤリホット	8
11月27日	身体拘束報告・検討。不適切ケアについて。ニヤリホット	6
12月18日	身体拘束報告・検討、研修。不適切ケアについて。ニヤリホット	7
1月22日	身体拘束報告・検討。言葉かけの注意点。ニヤリホット	7
2月19日	身体拘束報告・検討。スピーチロックについて。ニヤリホット	7
3月31日	身体拘束報告・検討。スピーチロックについて。ニヤリホット	6

【リスクマネジメント委員会】

実施日	内容	人数
4月22日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 2人介助の基準検討	8
5月19日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 2人介助の基準検討	7
6月16日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 ヒヤリハットに関して	6
7月21日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 ヒヤリハットに関して	8
8月18日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 ヒヤリハットに関して	8
9月15日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 喉詰め事故に関して	6
10月20日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 ヒヤリハットの整理について	7
11月17日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 ヒヤリハットの整理について	8
12月13日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 ヒヤリハットの整理について	8
1月19日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 ヒヤリハットの整理について	7
2月16日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・ヒヤリハット検討・事故報告検討 ヒヤリハットの整理について	6
3月16日	安全規則の振り返り 他部署見守り利用者現況確認・来年度にむけて	6

【感染症対策委員会】

実施日	内容	人数
7月20日	食中毒について	10
11月26日	感染症発生時の確認	12
3月25日	感染症対策時の確認と今年度の振り返り	9

【行事委員会】

実施日	内容	人数
5月11日	委員会メンバー紹介、年間行事計画の確認。	13
6月17日	七夕、納涼パーティー、敬老会の打ち合わせ。	11
8月17日	納涼パーティーふり返し、敬老会、作品展示会の打ち合わせ。	7
10月28日	敬老会ふり返し、作品展示会、クリスマス会打ち合わせ。	7
12月2日	作品展示会ふり返し、クリスマス会、お正月イベントの打ち合わせ。	10
1月14日	クリスマス会、お正月イベントのふり返し、節分、ひな祭り会打ち合わせ。	9
3月8日	節分、ひな祭り会ふり返し、一年のふり返し。令和3年度行事計画の打ち合わせ。	8

【食事委員会】

実施日	内容	人数
4月14日	4月・5月の行事予定 今年度のバイキング、デモクックについて	14
5月12日	5月・6月の行事予定 食事についての意見交換	12
6月9日	6月・7月の行事予定 災害食について 食事についての意見交換	13
7月14日	7月・8月の行事予定 納涼パーティについて 食事について意見交換	13
8月11日	8月・9月の行事予定 厨房におけるコロナ対策 食事について意見交換	12
9月10日	9月・10月の行事予定 今年度の鍋料理について 意見交換	9
10月13日	10月・11月の行事予定 食事について意見交換	8
11月10日	11月・12月の行事予定 特養の鍋料理について	11
12月8日	12月・1月の行事予定 食事について意見交換	8
1月12日	1月・2月の行事予定 食事についての意見交換	8
2月10日	2月・3月の行事予定 食事についての意見交換	9
3月9日	3月・4月の行事予定 今年度の反省と来年度の向けて 意見交換	12

【広報委員会】

実施日	内容	人数
4月22日	春号発行に向けて委員に編集内容・工程について案内配布	12
7月23日	夏号発行に向けて委員に編集内容・工程について案内配布	12
10月27日	秋号発行に向けて委員に編集内容・工程について案内配布	12
1月23日	冬号発行に向けて委員に編集内容・工程について案内配布	12

【自律支援委員会】

実施日	内容	人数
	職員体制により年度内、休止しました。	
	R3年3月より、体制を変え再開しています。	
3月11日	眠リスクヤンの活用について。	7

【安全衛生委員会】

実施日	内容	人数
4月24日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(感染症対策等)	7
5月22日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(備品の備蓄)	7
7月20日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(水分補給等)	7
8月28日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(熱中症対策)	7
9月28日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(環境整備等)	7
10月23日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(感染症対策等)	6
11月27日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(環境整備等)	6
12月25日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(交通事故対策等)	5
1月22日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(感染症予防等)	7
2月26日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(コロナ対策等)	6
3月26日	巡視報告と改善対応の検討 産業医からの注意事項(体調管理等)	7

あいの保育園拠点の委員会・会議

【主担会議】

実施日	内容	人数
4月17日	行事予定 クラスより(今年度のクラス目標・キャッチフレーズ) 連絡・伝	11
5月28日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 書類変更について	10
6月18日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 七夕会について 夕涼み会について	10
7月15日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 夏の合同遊びについて プールについて	10
8月27日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 プールについて振り返り 交通安全教室	10
9月16日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 運動会について 職員研修について	10
10月15日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 音楽会について 実習生の受け入れについて	10
11月19日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 音楽会に向けての取り組み	10
12月17日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 お別れ遠足について 生活発表会について	10
1月28日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 入園説明会について お別れ遠足について	10
2月25日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 生活発表会を終えて クラス移行期間について	10
3月17日	行事予定 クラスより 連絡・伝達 1年の振り返り QRリーダーへの変更について	10

【給食会議】

実施日	内容	人数
5月27日	給食部会報告 アレルギー・離乳食について R2年度食育計画 クッキングの取り組み	13
6月24日	給食部会報告 アレルギー・離乳食について クラスより(給食の様子や取り組みなど) じゃが芋掘りについて	11
7月22日	給食部会報告 アレルギー・離乳食について クラスより(給食の様子や取り組みなど) 夕涼み会振り返り	11
8月24日	給食部会報告 アレルギー・離乳食について クラスより(給食の様子や取り組みなど) クッキングの予定	12
9月23日	給食部会の報告 アレルギー・離乳食について クラスより(給食の様子や取り組みなど) お弁当日について	12
10月21日	給食部会の報告 アレルギー・離乳食について クラスより(給食の様子や取り組みなど) 焼き芋パーティについて 秋のバイキングについて	10
11月25日	給食部会の報告 アレルギー・離乳食について クラスより(給食の様子や取り組みなど) 行事食について	11
12月23日	給食部会の報告 アレルギー・離乳食について クラスより(給食の様子や取り組みなど) お餅つき会について	12
1月21日	給食部会の報告 アレルギー・離乳食について クラスより(給食の様子や取り組みなど) クッキングについて	10
2月16日	給食部会の報告 アレルギー・離乳食について クラスより(給食の様子や取り組みなど) 3月のリクエスト献立について	12
3月24日	給食部会の報告 アレルギー・離乳食について クラスより(給食の様子や取り組みなど) お弁当の感想 1年の振り返り	12

サンヒルズ拠点の委員会・会議

【サンヒルズ運営会議】

実施日	内容	人数
4月10日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、委員会組織、事務所移転、新型コロナ対策の周知	7
5月15日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、事務所移転、新型コロナ対策の周知、設備工事予定	7
6月18日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、新型コロナ対策の周知、ソーシャルメディア利用管理規程、設備工事予定、健康診断、ワーキングチーム	7
7月20日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、新型コロナ対策の周知、設備工事予定	7
8月21日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、新型コロナ対策の周知、補助金、介護慰労金、設備工事予定、働き方改革経過	7
9月18日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、新型コロナ対策の周知、設備工事予定	7
10月23日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、新型コロナ対策・シュミレーションの周知設備工事予定、働き方改革コスト削減、給与締め日変更、停電点検、全館配管清掃	7
11月20日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、新型コロナ対策の周知、設備工事予定、働き方改革(コスト削減・行動指針・会議のグランドルール)	7
12月18日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、新型コロナ対策の周知、設備工事予定、働き方改革(コスト削減)	7
1月25日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、新型コロナ対策の周知、設備工事予定、働き方改革(コスト削減)、介護報酬改定、	7
2月18日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、新型コロナ対策・ワクチン接種の周知、設備工事予定、働き方改革(コスト削減)、人事考課、事業計画素案、介護報酬改定	7
3月26日	各部門からの報告、行事予定、事業責任者会議からの報告、新型コロナ対策・ワクチン接種の周知、設備工事予定、働き方改革(コスト削減)、人事考課、介護報酬改定、事業計画、法人機構図(副統括)、委員会組織	7

【サンヒルズ連携会議】

実施日	内容	人数
5月8日	入居・待機状況、新型コロナ対策(各部署、事業所)、その他	12
8月7日	新型コロナ対策(予防策、具体的ケア方法、ゾーニング)	11
11月6日	新型コロナ対策について、各部署、事業所の状況、課題	12
2月5日	新型コロナ対策について、各部署、事業所の状況、報酬改定	12

【安全衛生委員会】

実施日	内容	人数
4月6日	業務災害、新型コロナ対策、免疫力向上方法、産業医より	7
5月11日	業務災害、新型コロナ対策、健康診断延期、備蓄状況、備品産業医より	7
6月8日	業務災害、新型コロナ対策、兵庫県対処方針、備品産業医より	7
7月6日	業務災害、新型コロナ対策、健康診断、災害時の備え、プラ手高騰	8
8月3日	業務災害、新型コロナ対策、健康診断、熱中症、プラ手高騰	6
9月7日	業務災害、新型コロナ対策、健康状況チェック表、交通事故防止、ぷら手	8
10月5日	業務災害、新型コロナ対策、インフル予防接種	8
11月2日	業務災害、新型コロナ対策、インフル予防接種、コスト削減、	5
12月7日	業務災害、新型コロナ対策、夜勤者健康診断、コスト削減、停電点検(災害対策)、季節の予防	6
1月4日	業務災害、新型コロナ対策、夜勤者健康診断、コスト削減、みだしなみ	5
2月1日	業務災害、新型コロナ対策、緊急事態宣言、花粉症	7
3月1日	業務災害、新型コロナ対策、緊急事態宣言、今年度の振り返り、コスト改	6

【感染対策委員会】

実施日	内容	人数
4月6日	新型コロナウイルス感染防止の対応、訪問理美容の再開	7
4月17日	臨時:新型コロナウイルス対策	12
4月30日	臨時:新型コロナウイルス対策	4
6月5日	新型コロナウイルス対策	8
8月7日	臨時:新型コロナウイルス対策	11
11月23日	新型コロナウイルス対策	8
1月27日	新型コロナウイルス対策、介護報酬改定	7

【食事委員会】

実施日	内容	人数
4月10日	行事食、食事摂取基準、食器の最終下膳、各部署より	8
5月15日	行事食、牛乳コップ、お弁当、各部署より	8
6月19日	行事所食、検食簿、牛乳コップ、お弁当、各部署より	7
7月20日	行事食、朝食メニュー、下膳車、各部署より	8
8月21日	行事食、厨房工事、各部署より	10
9月18日	行事食、厨房工事(お弁当)、各部署より	10
10月23日	行事食、デモクック、検食、嗜好調査、喫茶おやつ、各部署より	11
11月20日	行事食、デモクック、検食、嗜好調査、各部署より	7
12月18日	行事食、手作りスイーツ、各部署より	10
1月22日	行事食、マーガリン、各部署より	8
2月19日	行事食、下膳、各部署より	10
3月19日	行事食、手作りスイーツ、各部署より	9

【レク行事委員会】

実施日	内容	人数
4月10日	新型コロナの影響、年間行事計画	8
5月15日	新型コロナの影響、実施確認、年間行事予定、6月ゲーム大会	11
6月19日	棒サッカー大会	10
7月20日	レク時の感染対策、棒サッカー大会	11
8月21日	各階夏の行事計画(射的、ミニ縁日、花火大会)、敬老会	13
9月12日	臨時:敬老会(表彰者、お祝い、出し物、準備)	7
9月18日	敬老会、ハロウィン、喫茶、買い物、食に関するレク	9
10月23日	今後の行事、喫茶の時間と場所、外部業者の販売、	9
11月20日	クリスマス会、喫茶の開催方法、扇野商店	12
12月18日	フロア喫茶、クリスマス会、今後の行事予定	10
1月22日	節分行事、喫茶の進め方、バレンタインデー	13
2月19日	ひな祭り、喫茶	13
2月25日	臨時:喫茶の進め方	7
3月19日	お花見ドライブ、次年度の企画案、	12

【リーダー会議】

実施日	内容	人数
4月5日	委員会選出、PHS、修繕、職員配置換え	7
6月9日	フロア応援体制、爪切り、リハビリ	8
8月12日	新型コロナ対策、夜勤の体制	6
12月2日	歯科医との連携、運営状況、年末年始、リハビリ協力体制	13
1月31日	喫茶の進め方、ホームページ・SNS、備品の購入	8
3月27日	ナースコールの状況、協力体制、委員会メンバー、喫茶開催方法、人員配置、オンコール記録	8

【研修委員会】

実施日	内容	人数
4月10日	新型コロナウイルスに関する当面の対応、感染症研修	7
5月8日	研修方法の見直し、手洗い研修	8
6月12日	身体拘束・虐待防止研修(虐待の目チェックリスト、報告書)①	8
7月10日	看取り研修(事例検討、書面報告)	9
8月14日	看取り研修方法、身体拘束・虐待防止研修集計結果	9
10月9日	感染予防対策研修、ゴム手袋着脱方法、三翠会感染症研修(動画)	8
11月13日	今後の研修予定、救急救命動画研修、身体拘束・虐待防止研修②	9
12月11日	AED動画研修、身体拘束・虐待防止研修②	8
1月29日	認知症事例検討研修、AED動画研修報告、虐待の目チェックリスト評価	7
2月26日	認知症事例検討研修、次年度の計画	7
3月22日	次年度の計画と実施方法、委員会メンバー	7

【運営懇談会】

実施日	内容	人数
5月10日	書面報告:入居状況、職員配置、行事報告、新型コロナ対策、リハ室変更、リネン清掃	0
3月10日	書面報告:入居状況、職員配置、行事報告、新型コロナ対策	0

職員研修の状況

内部研修法人

【新人職員研修】

実施日	内容及び講師名	参加人数
4月16日	「社会福祉法人とは、社会人としての心構え」 …統括施設長	5
5月18日		5
6月16日		1
7月17日		2
8月18日		3
9月16日	「三翠会の基本理念と沿革、組織・事業所」 …さんすい園施設長、サンヒルズ館長	6
10月1日		2
10月20日	「諸規則について(定款、就業規則、服務規定等)」 …さんすい園事務長、サンヒルズ事務長	1
11月16日		3
12月17日		2
2月1日	※施設見学はコロナ禍で中止している	2
3月1日		1

内部研修さんすい園拠点

【施設内職員研修】

実施日	内容及び講師名	参加人数
4月	身体拘束 虐待 安田英世課長作成 資料配布	各部署
5月	身体拘束 虐待 安田英世課長作成 資料配布	各部署
6月	人権学習 三田市人権推進課推薦DVD学習「多様性入門」	各部署
7月	災害、防犯 クイズ方式の資料配布	各部署
8月	ストレス解消、モチベーションUP ワーク「コロナ禍でのストレス、楽しみの工夫」	各部署
9月	感染予防 サンヒルズクリニック小林昇先生講義動画視聴「新型コロナについて」	各部署
10月	ターミナルケア ワーク「特養、GHでの過去の偲ぶ会」で感じた事	各部署
11月	摂食嚥下 (株)フードケア 石川元気氏作成動画視聴	各部署
12月	心肺蘇生 (株)アルソック 提供動画視聴	各部署
1月	災害、防犯 「火災から命を守る避難」「サスマタ護身術」YouTube映像視聴	各部署
2月	人権学習 ワーク「コロナ禍の中で今、大切にしていること」	各部署
3月	認知症 認知症実践者研修修了者GH井筒幸子、池田雅子作成動画視聴	各部署

【中堅職員研修】

実施日	内容及び講師名	参加人数
11月12日	「三翠会行動指針について」 濱田稔郎戦略室主任	35

【介護基礎研修】

実施日	内容及び講師名	参加人数
12月11日	「三翠会訓について」	36

内部研修あいの保育園拠点

【施設内職員研修】

実施日	内容及び講師名	参加人数
10月10日	子ども主体の保育～自分でみつける自分で決める～	18人
11月7日	解説！保育所保育指針～子どもたちのよりよい育ちのために～	16人
12月12日	保育計画(カリキュラム)書き方のポイント～目的と目標～	18人

内部研修サンヒルズ拠点

【施設内職員研修】

実施日	内容及び講師名	参加人数
4月	事業計画・方針説明…小グループにて複数開催	全員参加
6月～7月	身体拘束・虐待防止研修①…虐待の目チェックリスト、書面報	全員参加
8月～9月	看取り事例検討…グループワーク(複数開催)	全員参加
10月～11月	感染症対策(手洗いチェッカー、プラ手脱着)…個別シュミレー	全員参加
12月	AED研修…個別動画視聴→書面報告及び問題形式	全員参加
1月～2月	身体拘束・虐待防止研修②…書面報告、前回からの振り返り	全員参加
3月	認知症とコミュニケーションの事例検討…グループワーク(複数開催)	厨房以外全員参加

施設外研修さんすい園拠点

番号	研修名	研修内容	参加者名	期間	場所
1	地域包括支援センター新任職員研修	地域包括・在宅介護支援センター職員としての基本を学ぶ	久保久美子	7月14日	兵庫県福祉センター
2	認知症介護実践者研修	認知症介護実践者研修	井筒幸子	8月20日～11月10日	福祉のまちづくり研究所
3	兵庫県認定調査員研修	兵庫県認定調査員研修	北脇友歌里	9月3日	兵庫県庁
4	介護支援専門員実務研修	介護支援専門員実務研修	藤野聡史	10月16日～10月17日	福祉人材研修センター
5	認知症介護実践者研修	認知症介護実践者研修	池田雅子	10月16日～1月22日	福祉のまちづくり研究所
6	定期巡回随時対応型訪問介護看護実践事例報告	定期巡回随時対応型訪問介護看護実践事例報告	前川嘉彦	10月19日	兵庫県看護協会
7	介護支援専門員実務研修	介護支援専門員実務研修見学実習	藤野聡史	11月10日・11月13日	名塩さくら苑
8	介護支援専門員実務研修	介護支援専門員実務研修	藤野聡史	11月12日・11月13日	福祉人材研修センター
9	介護支援専門員更新研修B	介護支援専門員更新研修	安田英世	11月20日～11月21日	福祉人材研修センター
10	地域包括支援センター職員等研修会	包括的継続的ケアマネジメント業務における環境整備の意義と実践プロセス	久保久美子	11月24日	神戸国際会館
11	介護支援専門員更新研修B	介護支援専門員更新研修	白谷伸也	11月26日～11月27日	福祉人材研修センター
12	介護支援専門員実務研修	介護支援専門員実務研修	藤野聡史	12月7日	福祉人材研修センター
13	社会福祉施設における労働災害防止対策について	講演と説明等	岡屋敷仁美	12月9日	伊丹市立総合教育センター
14	介護支援専門員更新研修B	介護支援専門員更新研修	安田英世	1月29日～1月30日	福祉人材研修センター
15	介護支援専門員更新研修B	介護支援専門員更新研修	白谷伸也	2月4日～2月5日	福祉人材研修センター
16	施設ケアマネジメント研修	施設ケアマネジメント研修	杉本浩二	2月9日～2月10日	福祉人材研修センター
17	障害者雇用納付金制度事務説明会	障害者雇用納付金制度事務説明会	松林雅史	2月10日	兵庫県学校厚生会館
18	介護支援専門員更新研修B	介護支援専門員更新研修	安田英世	3月17日	福祉人材研修センター
19	介護支援専門員更新研修B	介護支援専門員更新研修	白谷伸也	3月19日	福祉人材研修センター

施設外研修あいの保育園拠点

番号	研修名	研修内容	参加者名	期間	場所
1	保育課題サポート研修	発達の子になる子どもの加配や副担任として支援する主担任との連携	喜多あゆみ	3月10日	三田市役所

施設外研修サンヒルズ拠点

番号	研修名	研修内容	参加者名	期間	場所
1	社会福祉施設長資格認定講習	通信教育(1学期～4学期)スクーリング(映像視聴)各学期終了時の課題提出	日浦勝栄	6月16日～2月15日	通信教育
2	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策	新型コロナウイルス感染症とは、標準予防策、職員の健康管理、手袋着脱、環境清拭	吉田祥子	9月9日	兵庫県看護協会
3	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員更新研修B・再研修(下半期)	酒井悠行	11月16日～3月15日(計6日間)	福祉人材研修センター
4	定期巡回・随時対応サービス充実支援事業 普及セミナー	埼玉県の取り組み、三田市内の実施事例の発表	西田洋介	11月24日	兵庫県看護協会
5	高齢者施設向け新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に向けた説明会	接種の概要、高齢者・入所者への接種、従事者への接種、摂取に向けた準備	西田洋介	2月25日	三田市総合福祉センター

オンライン研修さんすい園拠点

番号	研修名	研修内容	参加者名	期間
1	地域サポート施設推進事業	事例発表会、3施設	北村	9月18日
2	阪神ブロック施設長会研修会	新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ対策	前川・中村	10月9日
3	阪神ブロック研修会	地域包括支援における家族療法	久保	10月13日
4	阪神ブロック施設長会研修会	SNSを活用した採用・広報活動のポイント	前川・古澤	12月4日
5	デイ部会研修	これからのデイ事業運営とデイに特化したコロナ対応	施設長・白谷・森本	1月18日
6	新型コロナウイルス感染症対策	(株)安全な介護・講義	各部署より	2月24日
7	ケアプラン作成指導研修	ケアマネジメントの本質と役割。アセスメント・ニーズについて。	大野・石田・山取・新谷・北脇	動画視聴 2月中
8	ケアプラン作成指導研修	ケアマネジメントの本質と役割。アセスメント・ニーズについて。	久保・三原	動画視聴 2月中
9	阪神ブロック施設長会研修会	ACPエンドオブライフケア、その人らしい最期を過ごすために	前川・安田	3月12日
10	福祉人材確保・定着力向上研修	学生・求職者に魅力を伝える採用活動	前川	3月20日
11	集団指導	介護保険制度改正について	各部署管理者、相談員	3月22日
12				

オンライン研修あいの保育園拠点

番号	研修名	研修内容	参加者名	期間
1	民間施設長オンライン研修会	同一労働同一賃金について 保育情勢 虐待防止・人権の意識向上のために	山地 真由美	12月2日
2				

オンライン研修サンヒルズ拠点

番号	研修名	研修内容	参加者名	期間
1	介保協 新型コロナセミ	ベネッセ、損保の事例発表	西田洋介	7月22日
2	介護付きホーム連絡協議	今年度の開催テーマ、開催方法	西田洋介	8月11日
3	介護付きホームでの人生会議と看取りケア	介護付きホームにおけるACPと看取りが不安な介護職員の支え方	西田・日浦 他5名程度	9月8日
4	衛生研修会(動画視聴)	食中毒予防・HACCPに沿った衛生管理	厨房職員全員	9月10日～9月30日
5	コロナ禍での食事の重要性を考える	免疫力を高める対策、食事に関わる環境整備	中津智子	10月27日
6	リスクマネジメント研修(動画視聴)	高齢者向け住まいの事故を巡るトラブル・クレームを防止するための方法	介護職員全員	11月1日～11月30日
7	経営者向けセミナー	介護付きホームに求められるBCPのあり方	西田洋介	12月3日
8	県老協 阪神ブロック施設長会議	SNSを活用した採用・広報活動のポイント	西田洋介	12月4日